

# 令和2年度 県南広域振興局第2四半期業務進捗状況(概要版)

資料No. 1

## I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域

### 1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります【順調3項目、遅れ4項目】

(健康づくり、スポーツへの参加、地域医療の確保、医療と介護等の連携、障がい者支援、結婚支援、子育てしやすい環境整備)

【主な取組の進捗状況】

- 医療と介護等の連携、障がい者支援、子育てしやすい環境整備については順調に取組を進めている。
- 健康づくり、スポーツへの参加、地域医療の確保、結婚支援については、新型コロナウイルスの影響により遅れが生じているが、自殺対策に係る出前授業、連絡会・研修会について、実施内容の変更や規模を縮小し開催した。

【主な指標】

- がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数(人口10万人当たり)目標:273.9人(男性)→実績:集計中 目標134.0人(女性)→実績:集計中
- 「いわて子育てにやさしい企業等」認証件数(累計)目標:119社 → 現状:79社(9/30現在)

### 2 快適で安全・安心な生活環境をつくります【順調6項目、遅れ4項目】

(環境保全の推進、野生鳥獣等の保護管理、動物との共生社会の実現、安全で安心な生活環境の確保)

【主な取組の進捗状況】

- 野生鳥獣の適正な保護管理、道路整備については順調に取組を進めている。
- 地球温暖化防止、動物愛護、食の安全・安心の取組については、新型コロナウイルスの影響により、研修会や猫の譲渡会の開催、衛生管理計画策定施設の割合などに遅れが生じているが、引き続き感染対策に留意しながら取組を進めていく。

【主な指標】

- 新規狩猟免許取得件数(累計)目標:516件 → 現状:102件(累計454件)
- HACCP衛生管理計画を策定している食品営業施設の割合 目標:70% → 現状:15%

### 3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります【順調2項目、遅れ1項目】

(ILC関係者等の受入環境整備、地域コミュニティづくり、移住定住の促進)

【主な取組の進捗状況】

- ILC関係者等の受入環境整備、地域コミュニティづくりについては、ILCセミナーや、関係人口創出に係るワークショップの開催等、オンラインの活用等により順調に取組を進めている。
- 移住定住の促進は、新型コロナウイルスの影響により移住定住促進イベントが延期するなど遅れが生じている。

【主な指標】

- 医療通訳研修会修了者数(累計)目標:60人 → 現状:集計中
- 県外からの移住・定住者数(人)目標200人 → 現状:集計中

## III 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域

### 6 地域の魅力の発信による交流を広げます【順調2項目、遅れ3項目】

(観光振興による交流拡大、おもてなしの向上、海外との相互交流の推進、スポーツツーリズムの振興、道路整備の推進)

【主な取組の進捗状況】

- 観光客受入に向けた環境整備の促進や観光地へのアクセス向上に向けた道路整備については順調に取組を進めている。
- 広域観光の促進や「県南レジェンドランナーズ」等スポーツツーリズムの振興の取組については、新型コロナウイルスの影響により、観光イベントや市町のマラソン大会の中止となるなど遅れが生じており、一部事業内容を見直すなどにより取組を進めている。

【主な指標】

- 県南圏域の観光入込客数(延べ人数)(万人回)目標1164.6万人回 → 現状:集計中
- 観光地へのアクセス道路整備延長(累計)目標:9,470m → 現状:集計中

### 7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります【順調3項目、遅れ0項目】

(食による交流人口の拡大、国内外への取引拡大、企業競争力の向上の推進)

【主な取組の進捗状況】

- 地域食材を生かした魅力的な地域づくりや取引拡大等の推進に向けて、地産地消レストランフェアやネットショップ開業セミナーの開催、物流ルート構築実証実験の実施、HACCPワークショップの開催等順調に取組を進めている

【主な指標】

- 地産地消イベント参加人数 目標:19,200人 → 現状:集計中
- 食料品製造出荷額 目標:861億円 → 現状:集計中
- 商談会での取引成立件数目標:110件 → 現状:集計中

### 8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます【順調3項目、遅れ0項目】

(伝統文化等の魅力発信、文化芸術と触れ合う機会の創出、文化財等の魅力を伝える人材の育成)

【主な取組の進捗状況】

- 平泉の理念と魅力の普及に向けた幼稚園・保育園向け出前授業や、伝統工芸等の魅力発信イベント「五感市」のオンライン開催や、文化芸術活動支援ネットワーク会議の開催など、オンライン等を活用した開催方法の工夫などにより順調に取組を進めている。

【主な指標】

- 講習会参加者数(累計)目標:100人 → 現状:集計中

## II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域

### 4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます【順調3項目、遅れ1項目】

(地域企業の技術力・生産性向上の支援、新技術を活用した取組の支援、伝統産業の魅力発信、道路整備の推進)

【主な取組の進捗状況】

- 地域企業の技術力・生産性向上の支援、伝統産業の魅力発信、道路整備の推進については、オンラインの活用など研修会やイベントの開催方法を工夫して実施し、順調に取組を進めている。
- 新技術を活用した取組の支援について、新型コロナウイルスの影響により、現場改善指導等のためのアドバイザーによる企業訪問回数が減少するなど遅れが生じているが、引き続き感染対策に留意しながら取組を進めていく。

【主な指標】

- ものづくり関連分野(輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等)の製造品出荷額(億円)目標:12,910億円 → 現状:集計中
- 東北地域ものづくり関連分野の製造品出荷額における県南地域のシェア(%)目標14.0% → 現状:集計中
- 伝統産業の各種イベント等への来場者数(累計)目標:8,000人 → 現状:集計中
- 物流の基盤となる道路整備延長(累計)目標:14,880m → 現状:集計中

### 5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します【順調3項目、遅れ2項目】

(地元企業の魅力向上、若者の地元志向の醸成、企業を支える人材の育成、移住定住の促進(再掲))

【主な取組の進捗状況】

- 地元企業の魅力向上、若者の地元志向の醸成、企業を支える人材の育成について、若手社員対象の研修や企業向け研修会は、オンラインの活用など開催方法を工夫して実施し、順調に取組を進めている。
- 地域企業の理解促進について、新型コロナウイルスの影響により、工場見学の実施件数が伸び悩んでいるほか、工業高校生等を対象とした実技講習等の支援について上半期の実技講習会が見送りになるなど遅れが生じているが、引き続き感染対策に留意しながら取組を進めていく。

【主な指標】

- 県南圏域高校生の管内就職率(%) 目標85.0% → 現状:集計中
- 物流の基盤となる道路整備延長 目標:14,880m → 現状:集計中
- 市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数 目標:700回 → 現状:集計中

## IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域

### 9 企業的経営体を中心とした収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます【順調5項目、遅れ0項目】

(企業的経営体の育成、米・園芸産地の育成・強化、畜産経営の生産性向上、農畜産物のブランド化、農村地域の保全・活性化)

【主な取組の進捗状況】

- 生産基盤の整備、農地の集積・集約化、新規就農者の確保の取組、県オリジナル新品種の生産販売・流通体制の構築支援や、農福連携による労働力確保の取組、農畜産物のブランド化や6次産業化などに向けて、個別指導や相談会の開催等、順調に取組を進めている。

【主な指標】

- 企業的経営体の育成対象数(累計)目標:42経営体 → 現状:集計中
- 米のオリジナル新品種販売数量 目標:3,700t → 現状:集計中
- 重点園芸品目の系統販売額 目標:4,836百万円 → 現状:集計中
- 農業産出額 目標:979億円 → 現状:集計中

### 10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します【順調5項目、遅れ0項目】

(担い手の育成・確保、ICTの導入用による林業経営の効率化、木材の安定供給、特用林産物の産地再生・生産振興)

【主な取組の進捗状況】

- 森林・林業のイメージアップや就労者確保に向けた林業講座や現場体験の実施、スマート林業事例研修の実施、地域材を使用した新商品の試作、特用林産物のブランド力回復や新たな産地形成の取組等について、順調に取組を進めている。

【主な指標】

- 林業技能者数(累計)目標:190人 → 現状:集計中
- 木材生産額(百万円) 目標:5,160百万円 → 現状:集計中
- 乾しいたけ植菌本数(千本) 目標:126千本 → 現状:集計中

令和 2 年度 県南広域圏業務方針進捗状況調書  
(第 2 四半期)

重点施策	頁
1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります	1
2 快適で安全・安心な生活環境をつくります	9
3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります	17
4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます	21
5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します	25
6 地域の魅力の発信による交流を広げます	31
7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります	37
8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます	41
9 企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます	45
10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します	51

令和 2 年 11 月



地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	
	重点施策	1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります	
	〔基本方向〕 (健康づくり) 住民が、こころと体の健康づくりに積極的に取り組むことができるよう、市町など関係機関と連携し、健康に関する知識の普及を図るとともに、職場や地域における心の不調の早期発見、生活習慣病の発症予防や重症化(再発)予防につながる取組を促進します。 また、若年期からの適正な食生活習慣と運動習慣の定着に向けて、健康づくりに関する良好な環境づくりを推進します。 スポーツを通じた健康増進を図るため、関係機関・団体と連携し、スポーツ活動への参画に向けた取組を推進します。		
	(医療) 地域医療構想の実現に向けて、病床機能の分化と連携や医療と介護の連携体制の整備などに取り組むとともに、妊産婦が安心して出産できるよう、周産期医療における医療機関間の診療連携体制の充実強化を図ります。 自然災害や新興感染症などに円滑に対応していくため、健康危機に対する管理体制を関係機関・団体と構築します。		
	(福祉) 高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、市町等と連携し、地域の実情に応じた医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを提供する体制づくりを支援します。 地域における障がい者の自立支援を進めるため、市町の障がい者地域自立支援協議会などのネットワークを生かし、障がい福祉サービス基盤の整備が着実に進むよう支援します。 また、就労継続支援事業者と農業者等との連携による、障がい者それぞれの特性に応じた多様な作業の確保や工賃向上に係る取組を支援します。		
	(子育て) 地域で結婚、子育てをするという希望がかなえられるよう、関係機関と連携し、結婚希望者に対する出会いの機会の提供等の取組を支援します。 また、地域の中で安心して子育てができるよう、市町と連携し、保育サービスの拡充等の取組を支援するほか、地域の企業等による子育てしやすい環境づくりを促進するなど、社会全体で出産、子育てを支援する地域づくりを推進します。		
	重 点 指 標		
	① がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数 〔10万人当たり〕(人)〔男性〕	現状(2017) 297.4人	目標値(2020) 281.1人
	① がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数 〔10万人当たり〕(人)〔女性〕	152.4人	137.8人
	② 自殺者数〔10万人当たり〕(人)	21.5人	19.5人
③ 訪問診療を受けた患者数 (人口10万人当たり：レセプト件数ベース)(件)	2998.3件	3028.1件	
④ 要介護・要支援の認定を受けていない高齢者の割合 (全国を100とした水準)(%)	98.17%	98.26%	
⑤ グループホームの利用者数(人)	640人	700人	
⑥ 「いわて子育てにやさしい企業等」認証件数(累計)	39件	99件	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 事業所等と連携したこころと体の健康づくりの推進 ② 地域と連携したスポーツへの参加機運の醸成 ③ 地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進 ④ 地域包括ケアシステムの構築 ⑤ 障がい者の自立活動の支援 ⑥ 「i-サポ奥州」の利用促進などを通じた結婚支援対策の推進 ⑦ 子育てしやすい環境の整備			

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①事業所等と連携したところと体の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県脳卒中予防県民会議の会員数(団体) 〔累計〕： 目標113団体</li> <li>・ 肥満傾向にある子供の割合(小学5年生)： 目標11.38%</li> <li>・ 肥満傾向にある子供の割合(中学2年生)： 目標10.72%</li> <li>・ メンタルヘルス人材育成のための研修会等の参加者数 〔累計〕： 目標1,961人</li> </ul>	<p>(1) 生活習慣病の発症予防やメンタルヘルスケアの向上に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 栄養成分表示及び受動喫煙防止の普及啓発</li> <li>○ 働き盛りを対象とした出前講座の開催</li> </ul> <p>(2) 特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の向上に向けた取組の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業主・職場安全衛生担当者研修会の開催</li> <li>○ 出前講座による普及啓発</li> </ul> <p>(3) 若年期からの健康づくりに関する良好な環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育園・学校等への出前講座の実施</li> <li>○ 特定給食施設への立入検査、個別指導の実施 84か所</li> </ul> <p>(4) 自殺対策に向けた総合的な取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自殺対策推進の連絡会及び研修会の開催 連絡会21回、研修会11回</li> <li>○ 事業所出前講座の開催及びゲートキーパー養成</li> </ul>
②地域と連携したスポーツへの参加機運の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ実施率(週1回以上のスポーツ実施率)： 目標64.0%</li> </ul>	<p>(1) 市町と連携したスポーツを通じた健康づくり情報発信によるスポーツへの参加機運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内のスポーツ施設やイベント、健康づくり情報を定期的に発信</li> </ul>
③地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携会議等の参加機関数：目標102機関</li> <li>・ 災害医療実地訓練等の実施回数：目標3回</li> <li>・ 感染症対策実地訓練など実施回数：目標3回</li> </ul>	<p>(1) 一連のサービスが切れ目なく、過不足なく提供される仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各圏域での地域医療連携会議の開催</li> </ul> <p>(2) 大規模災害を想定した災害医療訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害医療訓練の実施</li> </ul> <p>(3) 新興感染症に対応するため、医療機関の受入れ等の体制整備や実地訓練などを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症対策会議の開催</li> <li>○ 感染症実地訓練等の実施</li> <li>○ 医療職・介護職・保育職・福祉職進路選択セミナーの実施</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養成分表示店登録事業の紹介：集団19回、個別95件 ※新規登録 7件</li> <li>・ 受動喫煙防止対策の周知、相談・指導：周知20回、個別相談・指導95件</li> <li>・ 事業所出前講座を期間短縮で実施：7月開始10月終了に変更、実施（4回 66人）、講座中止時は資料提供に変更（5回 111人）</li> <li>・ 家庭血圧測定体験会・血圧指導実態調査を中止</li> <li>・ 事業主・職場安全衛生担当者研修会の中止</li> <li>・ 「職場の好事例集」の配布：350事業所</li> <li>・ 保育園・学校への出前講座：1回 26名</li> <li>・ 歩数計を活用した運動習慣定着事業：保育所2か所×2回（7月、9月）</li> <li>・ 特定給食施設研修会の中止</li> <li>・ 特定給食施設への立入検査（書面審査含む）及び個別指導の実施：実74か所、延95か所</li> <li>・ 自殺対策に係る連絡会・研修会を縮小開催 連絡会：開催3回 57人、中止6回 関係者対象研修会：開催2回、中止8回</li> <li>・ ゲートキーパー養成を事業所出前講座活用した実施に変更：4回57人、労働基準協会と連携した養成研修9月を中止</li> </ul>	<p>【進捗状況】遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症発生により、計画していた取組は実施方法の変更や中止で縮小</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策業務の比重が多い状況が継続</li> <li>・ コロナ禍における健康づくりの推進方法の検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養士による効果的な栄養指導等検討会の開催（12月、2月）</li> <li>・ 受動喫煙対策専門員による飲食店巡回指導の実施、栄養成分表示店登録事業を紹介（11～12月）</li> <li>・ 事業所出前講座（8回）、保育園・学校等出前講座（1回）、希望に応じて11月まで実施</li> <li>・ 保育園対象運動出前講座の実施（11月）</li> <li>・ 市町自殺対策担当者連絡会による自殺対策の検討：4回（11～12月）</li> <li>・ 自殺対策推進連絡会議を書面開催し取組の共有：3回（11～1月）</li> <li>・ 関係者対象研修会の開催：1回（12/23）</li> <li>・ 事業所出前講座に併せてゲートキーパー養成研修を実施：2回（11/12、1月調整中）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南いわてスポーツカレンダー発行によるスポーツ施設や健康づくり情報発信（1回発行：8月特別号）</li> <li>・ サイクリング・ウォーキングコースの利用促進（リーフレット配布）</li> </ul>	<p>【進捗状況】遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスの影響でスポーツイベント中止が相次ぎ、内容を見直し8月から再開</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい生活様式に即したスポーツや運動への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南いわてスポーツカレンダーの発行（10-12月号、1-3月号）により、スポーツイベントや健康づくり情報のほか、新しい生活様式に配慮した取組の情報を積極的に発信</li> <li>・ 市町や保健福祉環境部と連携した健康づくり情報の発信</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携会議 〈奥州〉第1回地域医療連絡会議（9/24 23機関） 〈花巻〉書面開催（10/16） 〈一関〉準備（進捗状況等関係機関照会）</li> <li>・ 災害医療訓練の実施 新型コロナウイルス感染症のため、一関のみ所内連絡訓練を実施（6/9）</li> <li>・ 患者発生時の対応及び医療（検査・診療等）体制の整備に係る関係機関会議、打合せを実施</li> <li>・ 地域外来・検査センター設置に係る訓練を実施</li> <li>・ 関係者を対象にしたPPE着脱訓練を実施</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症患者搬送業務研修を実施</li> <li>・ 一関で医療職セミナー（7/29）、福祉職セミナー（8/12）を開催。本局、花巻では高校生のニーズ調査を実施。花巻の医療職セミナーは中止</li> </ul>	<p>【進捗状況】遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈奥州〉奥州金ケ崎地域医療介護計画を了承</li> <li>・ 地域医療連携会議は、新型コロナウイルス感染症対応のため、花巻、一関において開催が遅れ（例年2回開催） （目標23/102）進捗率22%</li> <li>・ 災害医療実地訓練は、新型コロナウイルス感染症対応のため、医療機関を含めた実地訓練が遅れ</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈奥州〉地域医療構想の具体的対応方針の検証及び再検証（3公立病院）</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症に対応した会議方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携会議 〈奥州〉2月開催予定 〈花巻〉開催検討中 〈一関〉開催方法を含め検討中</li> <li>・ 災害医療訓練 〈奥州〉検討中 〈花巻〉災害医療伝達訓練（12月） 〈一関〉災害医療訓練（11/17）</li> <li>・ 感染症発生の動向に応じた医療体制や関係者の連携に係る連絡会議、実地訓練等を引き続き実施</li> <li>・ 介護職セミナーは1月予定（本局、花巻、一関）</li> <li>・ 医療職セミナーは開催日等を調整中（本局、一関）</li> <li>・ 保育職セミナーも同様（本局）</li> </ul>

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
④地域包括ケアシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅サービス・地域密着型サービスの利用割合： 目標65.8%、</li> </ul>	<p>(1) 地域包括ケアシステムの構築や、情報通信技術（ICT）の活用による医療機関や介護事業所との情報共有及び相互連携に向けた取組を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町が主催する介護保険運営協議会等への出席 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第8期介護保険事業計画策定協議 (委員として出席 奥州市、金ケ崎町、一関市)</li> </ul> </li> <li>○ 管内地域包括ケア担当者連絡調整会議の開催（1月）</li> </ul>
⑤障がい者の自立活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者就労継続支援事業所（B型）の工賃：目標 20,889円/月</li> </ul>	<p>(1) 障がい者への理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者が中尊寺・月見坂を車いすで登る体験会の実施</li> <li>○ 障がい者理解出前授業の実施</li> </ul> <p>(2) 市町の自立支援協議会等の取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各市町の自立支援協議会等への出席</li> </ul> <p>(3) 障がい者の経済的自立(工賃向上)への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共同販売会・販路拡大等の取組支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎内での事業所販売会の開催支援</li> <li>・ ハート購入の促進</li> </ul> </li> <li>○ 農福連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マッチング支援</li> <li>・ 農作業見学会、農作業実証の開催</li> <li>・ マッチング成立後の活動状況検証</li> <li>・ 事業者、農業者向け研修会の開催</li> <li>・ 取組報告会の開催</li> <li>・ 農福連携関係者会議の開催</li> <li>・ 実務担当者打合せ会出席</li> </ul> </li> </ul>
⑥「i-サポ奥州」の利用促進などを通じた結婚支援対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「i-サポ」入会登録者数 [累計]： 目標878人</li> </ul>	<p>(1) 「i-サポ」の利用促進に向けた周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポスター、リーフレットによる周知</li> </ul> <p>(2) 市町や関係団体との連絡会議等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議の開催</li> </ul> <p>(3) 「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リーフレット等の配付等による周知</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>第8期介護保険事業計画策定について委員として参画し協議、助言を実施  (奥州市) 5/28、8/24  (金ケ崎町) 8/20 (書面表決)  (一関市) 7/28</li> </ul>	<p><b>【進捗状況】</b> <u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p><b>【主な課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第8期介護保険事業計画策定協議に委員として関与している市町では、介護人材確保、認知症施策等の検討が必要</li> </ul> <p><b>【指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>65.12% (R2.8月時点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第8期介護保険事業計画策定の協議において各市町の状況に応じた助言</li> <li>管内地域包括ケア担当者会議の開催に向けた関係機関との調整</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>体験会は、コロナ禍により講演会開催に変更平泉町社会福祉協議会業務委託(本局)</li> <li>障がい者理解出前授業(一関)を10校で実施</li> <li>各市町の自立支援協議会に出席し助言等を実施  奥州市：親会(1回)、その他4部会(13回)  北上市：親会(1回)、就労部会及びWG(2回)  一関地区：親会(1回)、運営委員会(2回)、その他3部会(6回)  ※ 一関地区(一関市、平泉町合同開催)</li> <li>庁内放送による職員へのお知らせなど、事業所のパン類等販売会支援</li> <li>各所属でのハート購入の取組</li> </ul> <p>(本局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農福契約R2年度8件(全11件)</li> <li>農作業体験見学会の開催(2回)</li> <li>農作業実証、契約の立合、今年度の振り返り及び来年度の協議(随時)</li> <li>第1回農福連携関係者会議(8/25)</li> <li>実務担当者打合せ会(毎月)</li> </ul> <p>(一関)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業力確保に向けた連絡会議への参画</li> </ul>	<p><b>【進捗状況】</b> <u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ感染症による事業内容の変更決定</li> <li>新型コロナ感染症による書面開催や開催時期の延期があったが第2四半期以降順調</li> <li>新型コロナ感染症により、パン類等の販売会が減少、共同販売会も開催困難であったが、農福連携の推進については順調</li> </ul> <p><b>【主な課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降の実施について検討が必要</li> <li>各市町の第6期障がい福祉計画(R3~R5)策定に向けた支援が必要</li> <li>コロナ禍での販売会支援、予約注文による購入等検討が必要</li> <li>今後の農福連携取組方法の検討が必要</li> <li>平均工賃の減少が懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者への理解促進事業講演会開催(10/29)</li> <li>来年度の開催内容検討</li> <li>各市町の自立支援協議会に参画し、必要な助言等を実施  金ケ崎町：第1回親会10/23  第2回親会11/27  花巻市：親会書面開催10/27  就労部会10/1、10/30  西和賀町：親会11/2</li> <li>各市町の第6期障がい福祉計画(R3~5)策定に向けた支援や、圏域計画を策定</li> <li>事業所の販売会の支援</li> <li>会議等でのPRによるハート購入の促進</li> <li>農業者向研修会開催予定(12/7)</li> <li>施設職員向けセミナー開催(1月)</li> <li>農作業実証、契約の立合、今年度の振り返り及び来年度の協議</li> <li>農福連携関係者会議の開催</li> <li>取組報告会の開催</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会等でのポスター、リーフレット等による周知(随時)9月末現在登録数累計722人</li> <li>食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR  「いわて結婚応援の店」69件(県245件)  制度周知：本局118件、花巻137件、一関116件、計371件</li> </ul>	<p><b>【進捗状況】</b> <u>遅れ</u></p> <p><b>【主な課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中で「iサポ」入会登録への取組が必要</li> <li>コロナ禍の中での「いわて結婚応援の店」の協賛店登録への取組が必要</li> <li>「いわて結婚応援の店」は令和2年度県内新規登録1店舗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会等でのポスター、リーフレット等による周知(随時)</li> <li>県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議の開催(12/16開催予定)</li> <li>食品衛生講習会におけるリーフレット等の配付・PR(毎月)</li> </ul>



取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
⑦子育てしやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いわて子育て応援の店」延べ協賛店舗数〔累計〕： 目標763件</li> </ul>	<p>(1) 市町・保育事業者への助言・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町児童福祉（子育て支援）担当者連絡会議の開催（本局）</li> <li>○ 各市町が主催する会議への出席</li> </ul> <p>(2) 「いわて子育てにやさしい企業等」認証制度の普及拡大及び「いわて子育て応援の店」の協賛店の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業訪問による認証勧奨、制度周知</li> <li>○ リーフレット等の配付等による周知</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町児童福祉担当者連絡会議7/15 開催 8市町、県子ども子育て支援室、岩手県保育士・保育所支援センター、花巻保健福祉環境センター出席</li> <li>・奥州市子ども・子育て会議出席（1回）</li> <li>・「いわて子育てにやさしい企業等」 認証累計79件、新規認証数：計10件 企業訪問：本局10件、花巻13件、一関2件、計25件 制度周知：本局563件、花巻137件、一関116件、計816件</li> <li>・食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR</li> <li>・介護保険事業者集団指導会、障がい福祉事業者集団指導会でのチラシ配布及び説明</li> <li>・「いわて子育て応援の店」781件(県1,840件) 制度周知：本局118件、花巻137件、一関116件、計371件</li> <li>・食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR(毎月)</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわて子育てにやさしい企業等認証の更新申請が低調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回奥州市子ども・子育て会議11/4（全3回）</li> <li>・企業訪問（若者女性協働推進室と同行）(毎月)</li> <li>・食品衛生講習会におけるリーフレット等の配付及びPR(毎月)</li> <li>・研修会等での制度周知</li> <li>・更新時期の企業への通知</li> </ul>



地域振興プラン (2019~2022)	圏域の振興施策 の基本方向	1 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域	
	重点施策	2 快適で安全・安心な生活環境をつくります	
	〔基本方向〕 (環境保全等)		
	事業者における地球温暖化防止の取組支援や、官民連携による省エネや節電等のライフスタイルの意識啓発に取り組みます。		
	廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用のいわゆる3Rを促進するとともに、産業廃棄物の適正処理指導と不法投棄対策の取組を進めます。		
	豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、行政、NPO、事業者、住民等の協働連携による生物多様性の保全や環境保全の取組を推進します。		
	住民の健康と自然環境保全の基本である水環境の保全に取り組みます。		
	捕獲の担い手の育成や確保に努め、有害捕獲を一層強化し、野生鳥獣による自然生態系や農林業及び人身への被害防止対策を推進します。		
	人と動物が共生する社会の実現に向けて動物愛護思想の普及に努め、動物の生命尊重の機運醸成の取組を推進します。		
	食品を介した健康被害の発生の予防に努め、食の安全と安心の取組を推進します。 (社会資本整備等)		
災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路の防災機能の強化と計画的な維持管理を推進します。			
激甚化、頻発化する洪水や土砂災害から生命や財産を守るため、人口や資産が集積している区間や近年の被害実績のある区間のハード対策を重点的に推進します。また、施設では守りきれない洪水や火山噴火等に対し、警戒・避難体制等のソフト施策の充実強化を推進します。			
冬期間の安全で円滑な通行を確保するため、除雪を考慮した道路整備や、通学中の児童や高齢者の安全を確保するため、歩道の整備を推進します。			
人口減少等の影響を考慮しながら、地域の実情に合った汚水処理施設の整備を推進します。			
重点指標		現状(2017)	目標値(2020)
① 公共用水域の環境基準BOD (生物化学的酸素要求量)達成率(%)		100.0%	100.0%
② 産業廃棄物適正処理率(%)		99.55%	100.0%
③ 二ホンジカの捕獲数(累計)(頭)		4,582頭	13,582頭
④ 食中毒患者数(人口10万人当たり)(人)		16.3人	14.2人
⑤ 緊急輸送道路の整備延長(累計)(m)		0m	9,470m
⑥ 河川整備延長(累計)(m)		0m	4,000m
〔基本方向の実現に向けた取組〕			
① 地球温暖化防止に向けた取組の支援			
② 循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進			
③ 優れた自然環境等の保全・保護活動の推進			
④ 野生鳥獣等の適正な保護管理			
⑤ 人と動物が共生する社会の実現に向けた取組			
⑥ 食の安全と安心の取組の推進			
⑦ 災害に強い道路ネットワークの構築			
⑧ ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策			
⑨ 安全な通行、歩行者の安全確保のための道路整備の推進			
⑩ 衛生的で快適な生活環境の確保			

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①地球温暖化防止に向けた取組の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコスタッフ養成者数(人) [累計]:目標447人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)多量排出事業者の地球温暖化防止取組の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度地球温暖化対策実施状況報告・対策計画の提出</li> <li>エコスタッフ養成セミナーの開催</li> <li>いわて地球環境にやさしい事業所の認定</li> </ul> </li> <li>(2)県民や事業者、行政が連携した地域ぐるみの省エネ活動等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブ講習の実施</li> </ul> </li> </ul>
②循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出事業者等説明会への参加企業数(事業者) [累計]:目標2,738事業所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)廃棄物の3Rを基調とするライフスタイルの定着及び環境に配慮した事業活動促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物排出事業者等説明会の開催(10月以降)</li> <li>クリーンいわて行動の日の実施(5月)</li> </ul> </li> <li>(2)不法投棄対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物合同パトロールの実施</li> <li>産業廃棄物適正処理指導員による事業者への適正処理指導</li> </ul> </li> </ul>
③優れた自然環境等の保全・保護活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水基準適用の事業場(製造業)における排水基準適合率:目標100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)多様な主体が連携した地域全体での環境保全活動の活性化の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物調査等の支援(夏期)</li> <li>早池峰地域等の環境保全対策の推進</li> <li>河川等の環境保全に向けた取組の推進(流域協議会の開催)</li> </ul> </li> <li>(2)工場等への立入指導等による事業場排水の適正化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>採水検査及び立入指導の実施</li> <li>公共用水域及び地下水の水質測定の実施</li> </ul> </li> </ul>
④野生鳥獣等の適正な保護管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規狩猟免許取得件数 (累計):目標416件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)関係機関との情報交換会の開催等 <ul style="list-style-type: none"> <li>ツキノワグマ管理協議会の開催</li> <li>県南地域野生鳥獣被害防止対策連絡会への出席</li> </ul> </li> <li>(2)新規狩猟免許所得希望者の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発用チラシによる普及啓発</li> <li>新規免許取得希望者向けセミナーの開催</li> </ul> </li> <li>(3)モデル地域におけるツキノワグマ防除対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>北上市のモデル地域における防除対策実施の効果等検証</li> <li>モデル地域住民へのクマ防除対策への啓発</li> </ul> </li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>エコスタッフ養成セミナーを開催（7/31、22名受講）</li> <li>いわて地球環境にやさしい事業所を認定 認定数：17事業所（更新17事業所、新規なし）</li> <li>エコドライブ講習会（7/31、22名受講）</li> </ul>	<p>【進捗状況】遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナの影響でエコスタッフ養成セミナー参加者が想定人数（50名）ほど集まらず、目標値を下回った</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エコスタッフ普及に向けた周知等に取り組む必要</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <p>425人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他管内で開催するエコスタッフ養成セミナー（11月久慈、1月盛岡）のホームページやメール等による周知、当管内セミナー欠席者への案内の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンいわて行動の日は、新型コロナの影響により中止</li> <li>例年実施している連携会議・パトロールは、新型コロナの影響で年度後半に延期</li> <li>事業者への適正処理指導を実施（4,213件）</li> </ul>	<p>【進捗状況】遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナの影響でパトロール等が延期</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関等との連携に向けた会議、パトロール等の実施による適正処理指導体制の強化が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物排出事業者説明会を11/16～11/20にウェブセミナー形式で実施</li> <li>廃棄物合同パトロールの実施（10月以降）</li> <li>不適正処理事案に対する、廃棄物処理法に基づく報告徴収等による指導の強化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物調査の講師派遣は、新型コロナの影響で依頼なし（機材貸出しは18か所実施）</li> <li>早池峰環境保全キャンペーンは、新型コロナの影響により中止。移入種駆除（6/18、8/26）、登山道パトロール（5/28、7/16、9/30）、仮設トイレ設置（6/10）は実施</li> <li>流域協議会各団体の年次計画聴取（本局・一関、5月）、連絡会議書面開催（花巻、7月）など、連携推進に向けた情報共有等を実施</li> <li>採水検査及び立入指導26回（計画数26回）</li> <li>公共用水域測定209回（計画値214回）</li> <li>地下水測定41回（計画値51回）</li> </ul>	<p>【進捗状況】順調</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ感染防止に配慮し、ボランティア等と連携した早池峰地域環境保全の取組推進が必要</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <p>96%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度の早池峰地域環境保全活動に向けた早池峰地域保全対策事業推進協議会及び部会（12月、2月、事務局：県南局）の開催</li> <li>流域協議会の開催等（1月）</li> <li>環境交流フォーラムの開催（本局、3月）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ツキノワグマ管理協議会を書面開催（本局：5月、花巻、一関は書面開催検討中）</li> <li>県南地域野生鳥獣被害防止対策連絡会出席（9/9）</li> <li>農協等へのチラシの配布・周知（4～5月）</li> <li>新規免許取得希望者向けセミナーは新型コロナの影響で開催中止</li> <li>センサーカメラを用いたツキノワグマ出没状況調査を実施（4月下旬～11月頃）</li> <li>ツキノワグマ防除対策出前授業を実施（和賀西小学校8/31、笠松小学校9/17）</li> </ul>	<p>【進捗状況】順調</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携した野生鳥獣被害防止の取組推進が必要</li> <li>新規免許取得希望者の更なる拡充が必要</li> <li>モデル地域におけるツキノワグマ防除対策の効果検証等が必要</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <p>102件（累計454件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツキノワグマ管理協議会の開催（花巻、一関：年度内）</li> <li>農業従事者や市町村等が主催の会議等でのパンフレット、チラシ配布等による狩猟者拡充の取組実施（随時）</li> <li>地域住民へのクマ防除対策啓発のための勉強会の開催（11月、横川目地区で開催予定）</li> <li>アンケート調査の実施（11月）、事業結果の取りまとめ（3月）</li> </ul>

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
⑤人と動物が共生する社会の実現に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>猫の譲渡会の開催回数(累計)：目標30回</li> </ul>	<p>(1) 猫の譲渡の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 猫の譲渡会の開催</li> <li>○ 猫の譲渡希望者の募集・登録</li> </ul> <p>(2) 動物愛護思想の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犬、猫の飼い主への指導</li> <li>○ 動物取扱業者や特定動物飼養者への指導</li> </ul>
⑥食の安全と安心の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>HACCP衛生管理計画を策定している食品営業施設の割合：目標40%</li> </ul>	<p>(1) 関係機関との協働による営業者への指導及びHACCPに基づく衛生管理の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食品営業施設への立入監視及びHACCP衛生管理計画策定状況の確認</li> <li>○ 収去検査の実施</li> <li>○ 食中毒予防に向けた事業者指導の実施</li> </ul>
⑦災害に強い道路ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急輸送道路等における耐震化完了橋梁数：目標5橋</li> </ul>	<p>(1) 橋梁の耐震補強や法面防災点検等の結果を踏まえた対策など、緊急輸送道路の防災機能強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国道107号北上市日高見橋、国道283号遠野市小岩橋、花巻停車場花巻温泉郷線花巻市落合橋等において事業を実施</li> </ul>
⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>県管理河川における水位周知河川の指定河川数(河川)〔累計〕：目標14河川</li> <li>県管理河川における想定最大規模の降雨に対応した洪水浸水想定区域の指定河川数：目標7河川</li> <li>土砂災害警戒区域等指定箇所数〔累計〕：目標2,480箇所</li> </ul>	<p>(1) ハード対策として、河川改修による治水安全度の向上と河道掘削や立ち木伐採による河川の流下能力の確保を推進し、ソフト施策として、水位周知河川の指定を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遠野市小鳥瀬川の指定</li> </ul> <p>(2) ソフト施策として、浸水想定区域の指定の指定を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度における花巻市稗貫川の指定に向けた関係者との調整・準備</li> </ul> <p>(3) ソフト施策として、土砂災害警戒区域の指定を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内8市町のうち花巻市、遠野市、一関市、奥州市(他4市町は指定完了)において、各土木センター等が関係機関と調整を図り、土砂災害警戒区域を指定</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 譲渡会は、新型コロナウイルスの影響で6回開催（昨年度実績13回）</li> <li>・ HP掲載やコミュニティーFMの活用による譲渡希望者募集や啓発を実施（本局：6～8月、番組13回、CM47回、花巻：9/20～26、番組1回、CM26回）</li> <li>・ 譲渡希望者の登録38人（昨年度末28人）</li> <li>・ 動物取扱業者への指導を実施</li> </ul>	<p>【進捗状況】遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 猫の譲渡会は、新型コロナウイルスの影響で昨年同期より開催回数が半分程度となった</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた猫の譲渡推進が必要</li> <li>・ 令和3年度に改正施行される動物愛護管理法に対応する動物取扱業者への指導が必要</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <p>6回（累計55回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した猫の譲渡会の開催（11月以降、月2回程度）</li> <li>・ HPやSNS、コミュニティーFMの活用による猫の譲渡希望者募集（12月：CM30回放送予定）</li> <li>・ HPやチラシによるミルクボランティアの普及啓発</li> <li>・ 動物取扱業者に対する定期的な立入等による指導の強化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品事業者への立入検査及びHACCP衛生管理計画策定状況の確認を実施（5,420件）</li> <li>・ 収去検査は、4～5月は休止し、6月以降に実施（73件）</li> <li>・ 許可更新時における責任者講習等の実施（月1回程度）</li> </ul>	<p>【進捗状況】遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国による業種ごとのHACCP導入手引書の作成が遅れ、策定施設数が伸び悩み、衛生管理計画策定施設割合は、目標値をかなり下回っている状況</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HACCPに基づく衛生管理制度化への事業者対応の促進が必要</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <p>15%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改正食品衛生法説明会の開催（本庁主催、11月～1月、広域管内で4回、各100人程度定）</li> <li>・ HACCPワークショップの開催（本庁主催、10月～2月、広域管内で11回、各20人程度）</li> <li>・ 衛生管理計画策定に関する講習会（出前講座、責任者養成講習会）の開催（1月～3月、広域管内で3回、各100人程度）</li> <li>・ 許可更新時における実務者講習での計画策定等演習の実施（毎月）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全箇所において事業実施中</li> </ul>	<p>【進捗状況】順調</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により、事業の進捗管理を行う</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小烏瀬川における改良復旧事業を令和2年度内の完了に向けて事業実施中。水位周知河川としての指定は、完了時期を踏まえ、令和2年度から3年度に見直し。</li> <li>・ 花巻市分については全箇所指定完了。</li> <li>・ 遠野市、一関市、奥州市においては、土砂災害警戒区域の指定に向けた住民説明会等を実施</li> <li>・ 非常連絡訓練実施（4/24）</li> <li>・ 令和2年県総合防災訓練に参加（8/30）</li> <li>・ 災害警戒本部地方支部設置（計24回）</li> <li>・ 鳥インフルエンザ対応に係る宮城県との連絡体制の構築</li> <li>・ 鳥インフルエンザの実動訓練は中止</li> <li>・ 建設業協会奥州支部と土木部による防疫対応実地訓練実施（11/5）</li> </ul>	<p>【進捗状況】順調</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事進捗に合わせた指定時期の見直し</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、鳥インフルエンザの流行シーズン前の訓練未実施</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥インフルエンザ等発生時における関係機関との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改良復旧工事の着実な推進を図り、予定時期の指定に向けて関係者との調整・準備</li> <li>・ 令和4年度の指定に向けた関係者との調整・準備</li> <li>・ 遠野市、一関市、奥州市において、土砂災害警戒区域の指定に向けた住民説明会等を実施</li> <li>・ 令和3年度県総合防災訓練の準備（北上市・西和賀町）</li> <li>・ 鳥インフルエンザ等机上訓練(12月中旬～1月中旬：一関)</li> <li>・ 一関市防災会議への参加</li> <li>・ 栗駒山火山防災協議会幹事会等への出席（未定）</li> </ul>



取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
⑨安全な通行、歩行者の安全確保のための道路整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路（小学校）における歩道設置延長〔累計〕：目標900m</li> </ul>	<p>(1) 通学路を中心とした歩道整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国道342号一関市瑞山、花巻大曲線花巻市志戸平、北上和賀線北上市鬼柳、岩明岩谷堂線奥州市藤里等において事業を実施</li> </ul>
⑩衛生的で快適な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚水処理人口普及率：目標83.0%</li> </ul>	<p>(1) いわて汚水処理ビジョン2017 に基づく汚水処理施設整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内8市町において、公共下水道事業や農業集落排水事業を実施</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>全箇所において事業実施中</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により、事業の進捗管理を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全箇所において事業実施中</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の着実な推進に向けて、市町との連携を図り、適切な支援を行う。</li> </ul>



地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域		
	重点施策	3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります		
	〔基本方向〕 国際リニアコライダー（ILC）実現を契機とした地域の国際化を見据え、ILC関係者が地域コミュニティの一員として安心して暮らせるよう、受入態勢整備を進めます。 魅力と活力ある持続可能な地域社会の形成を進めるため、多様な主体が活躍する機会の提供等により、県民一人ひとりが地域の担い手として活躍できるよう取り組むとともに、住民やNPO法人等の多様な主体による地域コミュニティづくりや、市町と県との連携又は市町間の連携などによる広域的な課題への取組を進めます。			
	重 点 指 標		現状 (2017)	目標値 (2020)
	県外からの移住・定住者数 (市町報告値・県内移動除く) (人)		146人	222人
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 国際リニアコライダー（ILC）関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備 ② 持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支援 ③ 移住・定住の促進				

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①国際リニアコライダー（ILC）関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療通訳研修会修了者数（人）〔累計〕：目標 50人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 外国人研究者とその家族などの受入態勢整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療通訳者養成研修会の開催</li> </ul> </li> <li>(2) 国際リニアコライダー（ILC）実現後の多文化共生に関する、住民への理解促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内市町のKEKへの視察（コロナのため中止）</li> <li>○ 国立天文台水沢との図書館合同展示等の実施</li> <li>○ 管内市町との意見交換会の開催</li> </ul> </li> <li>(3) 住民への国際リニアコライダー（ILC）の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学生向けILCセミナーの開催</li> </ul> </li> </ul>
②持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化イベント等による事業創出数：目標 2 事業/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 住民等による自主的な地域課題解決の取組や、市町や県の区域を越えた広域的な課題解決の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 首長懇談会の開催</li> <li>○ 副首長懇談会の開催</li> <li>○ 政策・企画部課長会議の開催</li> <li>○ 政策課題研究会の開催</li> <li>○ 岩手・宮城県際連絡会議の開催</li> </ul> </li> <li>(2) 伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県文化芸術コーディネーター設置による相談、情報収集・発信等への支援</li> <li>○ 若者文化振興事業費補助金による文化芸術活動の支援と機会の創出</li> </ul> </li> <li>(3) 市町が実施する地域内交通の利用促進等の取組の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各市町の地域公共交通会議へ委員として参画</li> <li>○ 地域公共交通に関する担当者会議の開催</li> </ul> </li> <li>(4) 住民や地域おこし協力隊などの自主的活動の支援や、関係人口の創出・拡大に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域おこし協力隊を対象とした「南いわてプロジェクト創出ラボ」の開催</li> <li>○ 仙台圏在住者（社会人）を対象としたワークショップ「南いわてファンミーティング」の開催</li> <li>○ 仙台圏在住大学生を対象としたワークショップ「わたしと岩手の研究所」の開催</li> </ul> </li> </ul>
③移住定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数：目標 700人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市町と連携した県南圏域の魅力の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ U・I ターン相談会における情報提供</li> </ul> </li> <li>(2) 移住者が安心して活躍できる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報交換会の開催</li> </ul> </li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>奥州市国際交流協会と協議し、研修日程を決定</li> <li>国立天文台水沢及び関係市町と協議し、図書館企画展示日程を決定</li> <li>管内中学校及び図書館に関連図書を寄贈（全76施設）</li> <li>ILCセミナーの実施（遠野東中、59人、8/24）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>順調</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた事業内容の見直し</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療通訳制度の管内市町への横展開</li> <li>継続した普及啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療通訳研修会（1/17、24）や図書館での合同展示（12/1～3/8）等の適切な実施</li> <li>ウィズコロナ時代の情報提供や視察等の実施方法の検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>首長懇談会は新型コロナウイルス感染リスク低減等を勘案し、年度後半に延期</li> <li>副首長懇談会（7/13 Web会議）</li> <li>政策・企画部課長会議（第1回4/16書面、第2回開催の準備）</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策に係る管内市町との連携会議（5/28、29）</li> <li>政策課題研究会（第1回4/16書面、第2回開催の準備）</li> <li>岩手・宮城県際連絡会議の方針協議</li> <li>県文化芸術コーディネーターによる活動支援や新型コロナ対策支援情報の周知</li> <li>文化芸術活動支援ネットワーク会議で新型コロナ対策をテーマとした研修を実施</li> <li>若者文化振興事業費補助金による高校演劇のオンライン配信と舞台技術講座等によるスキルアップの支援</li> <li>地域公共交通会議への出席（花巻市（6/24、8/24）、遠野市（7/17）、一関市（6/9書面、8/4）、奥州市（6/26、7/31）、金ケ崎町（7/14）、西和賀町（6/18））</li> <li>協力隊のニーズ把握を行った上で、情報発信の講座を開催。また、独立準備の講座を開催予定</li> <li>南いわてファンミーティング開催に向けた調整を実施</li> <li>わたしと岩手の研究所を実施中（参加者13名）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>順調</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議の開催にあたり、Web方式の導入等を図っている</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウィズコロナに対応した会議の開催方法</li> <li>関係人口の創出については、地域との関係性を継続するための仕組みの構築が必要</li> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>首長懇談会（11月～12月に個別訪問）</li> <li>第2回政策・企画部課長会議（10/23）</li> <li>第2回政策課題研究会（10/26）</li> <li>岩手・宮城県際連絡会議（12/2）</li> <li>文化芸術コーディネーター等関係機関と連携した活動支援と情報発信</li> <li>管内の団体や関係機関への新型コロナ対策関連を含む支援情報の提供（補助金等支援制度の周知）</li> <li>第2回政策課題研究会（10/26）（再掲）</li> <li>南いわてプロジェクト創出ラボ独立準備講座（10/13、20、27）</li> <li>南いわてファンミーティング（11月中旬～12月中旬、延べ4回）</li> <li>わたしと岩手の研究所プログラムを引き続き実施（10月まで、11/2発表会）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町等との情報交換会の実施（7/28）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>遅れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12/5に東京都でイベント開催予定であったが、本庁主催のイベントとの重複により、計画を変更して1/23に開催すべく調整中</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本庁事業との連携・調整による効果的な実施</li> <li>ポストコロナ時代における「南いわてへの移住・定住」機運を醸成・促進する効果的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本庁主催イベント（11/8～14）の開催状況等を勘案・検証のうえ、県南局としての移住・定住促進イベントをオンラインで開催</li> <li>ウィズコロナ・ポストコロナ時代における効果的な情報発信等のため、管内市町等との第2回情報交換会を開催</li> </ul>



地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域		
	重点施策	4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます		
	〔基本方向〕 世界に通用する技術力・競争力を持ったものづくり産業を支える人材の確保・育成のため、北上川流域ものづくりネットワークや大学等の教育機関などと連携し、企業をけん引する能力の高い人材の育成の取組を支援します。 地域企業の競争力強化を図るため、ものづくり産業の技術力の強化やQCD（品質、コスト、納期）水準の向上の取組を支援するとともに、産業の更なる集積を図るため、自動車や半導体関連産業などへの新規参入や取引拡大などの取組を進めます。 新たな産業の形成や生産性の向上を図るため、産学官連携により国際リニアコライダー（ILC）の関連技術や第4次産業革命（IoT等）の新技术を活用した取組を支援します。また、次世代自動車関連の研究開発を図るため、高度技術者の育成の取組を支援します。 南部鉄器等の伝統産業の振興を図るため、若手の経営者や工芸家等の育成や技術の継承、伝統の技術を生かした新商品開発の支援、商品力やブランドなどの「強み」を生かした販売機会の創出やあらゆる機会を利用した魅力の発信に取り組みます。 工業製品等の輸送の利便性を向上させ産業振興を支援するため、工業団地が集積する内陸部と港湾等を結ぶ路線など、物流の基盤となる道路整備を推進します。			
	重点指標		現状（2017）	目標値（2020）
	ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の製造品出荷額（億円）		12,910億円	14,100億円
	東北地域ものづくり関連分野の製造品出荷額における県南地域のシェア（%）		12.6%	14.0%
	〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 地域企業の技術力向上及び技術革新を含めた生産性向上の支援 ② 自動車・半導体関連産業への一層の参入促進及び国際リニアコライダー（ILC）の関連技術や第4次産業革命（IoT等）の新技术を活用した取組の支援 ③ 伝統産業の魅力発信 ④ 産業を振興する道路整備の推進			



取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①地域企業の技術力向上及び技術革新を含めた生産性向上の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産管理関連講座受講者数(人) : 目標1,800人</li> </ul>	<p>(1) QCD能力向上等のための研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり人材育成講座(集合研修)の開催(年間計画17回(14講座))</li> <li>オーダーメイド研修実施(募集枠5社)</li> </ul>
②自動車・半導体関連産業への一層の参入促進及び国際リニアコライダー(ILC)の関連技術や第4次産業革命(IoT等)の新技术を活用した取組の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内ものづくり企業の新規受注件数(件) : 目標275件</li> </ul>	<p>(1) 自動車や半導体関連産業などへの新規参入、企業間の取引拡大及び、サプライチェーンの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーによる企業訪問(指導)</li> <li>現場改善・品質管理実践指導</li> <li>ものづくり企業下請法講座の開催(年3回程度)</li> </ul> <p>(2) 第4次産業革命(IoT等)の新技术の導入事例の横展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IoT導入支援セミナー等の開催</li> <li>IT人材とものづくり企業のマッチング支援</li> </ul>
③伝統産業の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統産業の各種イベント(オープンファクトリー等)への来場者数(人) : 目標6,000人</li> </ul>	<p>(1) 「いわて県南エリア伝統工芸協議会」の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援</li> </ul> <p>(2) 「オープンファクトリー五感市」の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、情報発信を支援</li> </ul>
④産業を振興する道路整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流の基盤となる道路整備長 : 目標9,470m</li> </ul>	<p>(1) 工業団地が集積する内陸部と港湾等を結ぶアクセス道路などの広域的な物流の効率化につながる道路整備や内陸部の工業・物流団地間相互やインターチェンジを結び、生産性の向上につながる道路整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道284号一関市石法華、国道342号一関市白崖、国道343号一関市渋民、国道397号奥州市小谷木橋、一関北上線奥州市谷地等において事業を実施</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり人材育成講座（集合研修）開催（12回）</li> <li>オーダーメイド研修（4社決定、うち研修1社実施）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>順調</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合研修は当初計画どおり</li> <li>オーダーメイド研修（1社検討中）</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度メニュー設定に向けた企業ニーズの把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり人材育成講座（集合研修）（5回）</li> <li>オーダーメイド研修（対象企業1社決定、研修4社実施）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーによる企業訪問（指導）：3社</li> <li>現場改善・品質管理実践指導：3社</li> <li>ものづくり企業下請法講座を開催（第1回8/21）</li> <li>経営課題解決IoT活用セミナーを開催（8/18）</li> <li>マッチング支援一盛岡広域振興局と事業実施に向けて調整中</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>遅れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーによる企業訪問・現場改善指導の時期を調整（例年月1回程度実施）</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザー稼働減少に伴い、企業訪問・現場改善指導の優先度の見極め</li> <li>IoT導入メリットの理解促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーによる企業訪問（指導）10月5社、以降効果的な訪問指導実施</li> <li>現場改善・品質管理実践指導（10月5社）、以降年度内に1回実施予定</li> <li>ものづくり企業下請法講座（第2回10/21、第3回12月予定）</li> <li>経営課題解決IoT活用セミナー（個別相談2社）、個別支援の実施</li> <li>IT技術活用研究会を12月開催予定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「動画編集・LIVE配信についての勉強会」を開催（9/11）</li> <li>「ON-LINE五感市」開催に向けて役員協議等に参画（実行委員会は書面協議）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>順調</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う事業計画見直しによりON-LINE開催</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五感市参加企業の拡大、観光とのコラボレーション（通年化など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「販路拡大、商品開発に向けた経営マネジメント研修」を開催（12/9予定）</li> <li>ON-LINE五感市開催（10/31～11/1、視聴者参加企画は12月末まで）</li> <li>実行委員会役員会において、来年度以降の開催方法検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全箇所において事業実施中</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>順調</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により、事業の進捗管理を行う</li> </ul>



地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域			
	重点施策	5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します			
	〔基本方向〕 安定的な雇用の確保と、ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる雇用・労働環境の整備を促進し、地域の産業人材の確保・育成・定着を図るため、企業・事業所における働き方改革や人材育成の取組を支援します。 地域企業についての理解促進や、働くことへの意識醸成のための小中学生を対象としたキャリア教育を実施するとともに、ものづくり産業を支える人材の育成に向けた高校生から社会人までの技術及び技能の向上に資する取組を実施します。 また、高校生、大学生、教員、保護者等に対する地域企業等についての理解促進の取組と魅力発信を行い、若者の県内就職を促進します。 多くの人が活躍できる社会の実現と人材確保のため、県と関係機関が連携し、あらゆる働く意欲のある人の就業促進や地元定着を支援するとともに、県外からの就職希望者等に向けた南いわての暮らしや仕事についての情報発信を行います。				
	重 点 指 標		現状 (2017)	目標値 (2020)	
	県南圏域高校生の管内就職率 (%)		63.9%	85.0%	
	〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上 ② 若者の職業意識、地元志向の醸成 ③ 地域企業の理解促進や高校生の資格取得支援 ④ 企業を支える人材の育成 ⑤ 移住・定住の促進				

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いわて働き方推進運動参加事業所数：目標165社</li> <li>・ 企業ガイド(サイト)閲覧数：目標4,150回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 働き方改革の取組や労働条件の改善に向けた産業関係団体や企業への要請 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町、公共職業安定所などと連携した要請活動の実施</li> </ul> </li> <li>(2) 仕事と子育て、介護等との両立や全ての人が働きやすい環境づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商工団体会報への働き方改革運動や移住支援金制度等の記事掲載依頼</li> <li>○ 就業支援員等による事業所訪問時のパンフレット配付</li> </ul> </li> <li>(3) 地域企業が希望する人材の確保への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いわて県南広域企業ガイド」の学校等への配架、ホームページ掲載</li> </ul> </li> <li>(4) 地域企業の採用力向上の取組への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「採用力向上のための勉強会」の開催</li> </ul> </li> </ul>
②若者の職業意識、地元志向の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校を会場とした企業ガイダンス実施支援回数：目標4回</li> <li>・ キャリア教育支援件数：目標180件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新規高卒者の就職や職場定着の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就業支援員による求人情報の収集及び職場定着支援の実施</li> <li>○ オンライン形式による職業能力向上研修の開催</li> </ul> </li> <li>(2) 小中学生、高校生向けの出前授業等を通じた若者の職業意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就業支援員やキャリア教育サポーターによる就職ガイダンスや面接練習等の就職支援</li> <li>○ 小中学生、高校生等を対象とした、建設業のイメージアップに向けたカレンダーの配布や、建設業への理解を深めてもらう「建設業ふれあい事業」の開催</li> </ul> </li> <li>(3) U・Iターン希望者への地域企業の情報等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進学校等を対象とした「いわてで働く！出前授業」の開催</li> <li>○ U・Iターン相談会における情報提供</li> </ul> </li> </ul>
③地域企業の理解促進や高校生の資格取得支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中高校生の企業見学・出前授業等の実施回数：目標80件</li> <li>・ 高校生の技能検定合格者数：目標400人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 北上川流域ものづくりネットワークによる地域企業への理解促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中学校や高校等の工場見学や出前授業の開催支援</li> </ul> </li> <li>(2) 教員や保護者を対象とした地域企業への理解促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員向けミニ企業見学会の開催</li> <li>○ 高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催</li> </ul> </li> <li>(3) 工業高校生等を対象とした実技講習等の支援等 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資格取得に向けた実技講習会の開催支援</li> </ul> </li> <li>(4) インターンシップ等を支援し企業を支える質の高い人材の育成と活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受入れ可能企業の掘り起こし</li> </ul> </li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>花巻市5/18、北上市6/3、金ケ崎町6/10、奥州市6/19、一関地区5/29（新型コロナウイルス感染防止のため書面送付のみ）</li> <li>商工団体会報への働き方改革運動や移住支援金制度等の記事掲載依頼</li> <li>就業支援員等によるパンフレット配布</li> <li>いわて県南広域企業ガイド（R2.4現在）更新・学校への配架。ホームページ掲載情報の更新（9月末現在140社）</li> <li>「採用力向上のための勉強会」高卒採用編（第1回8社10名、第2回5社5名）開催</li> <li>大卒採用編の開催（11月）に向け、関係機関との調整</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用要請活動については、ほぼ例年どおり実施</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革運動や移住支援金制度の更なる周知</li> <li>「採用力向上のための勉強会」大卒採用編開催にかかる周知</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業ガイド（サイト）閲覧数 5,177回（9月末現在）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革運動への参加促進</li> <li>「いわて県南広域企業ガイド」により、生徒・保護者に対し地域企業情報を周知</li> <li>「採用力向上のための勉強会（大卒採用編）」の開催（11/27）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>就業支援員による職場定着支援を実施（定着支援件数：236件（9月末現在））</li> <li>職業能力向上研修の実施（基礎編、応用編）（第1～5期、のべ受講者56人）</li> <li>就業支援員による高校生の面接練習等の就職支援の実施（学校訪問件数：650件、キャリア教育支援件数：180件（9月末現在））</li> <li>高校を会場とした企業情報ガイダンス開催（一関修紅6/25）、ほか4校と実施に向け調整中</li> <li>一関工専を会場とした「地域企業情報ガイダンス」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>建設業イメージアップカレンダーの作成及び県南局管内8会場における建設業ふれあい事業の開催（小学校4校、中学校3校、高校1校）</li> <li>進学校等を対象とした出前授業「いわてで働く！出前授業」開催（6/3大迫高、6/18花巻北高）</li> <li>地域企業の先輩社員等を講師とした出前授業の開催にあたり、学校と調整（12/10水沢工）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校等との調整の上、事業を実施</li> <li>オンラインを活用し、若手社員を対象とした研修会を実施</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「県内企業による高校生の未来づくり応援事業」「高校生未内定者等の就職面談会」など、新型コロナウイルス関連で追加実施される取組に対し、関係機関と連携した対応が必要</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校を会場とした企業ガイダンス実施支援回数（回）1回（9月末現在）</li> <li>キャリア教育支援件数（件）180件（9月末現在）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業支援員やキャリア教育サポーターによる就職ガイダンス、内定者セミナー等の実施</li> <li>新型コロナウイルス関連「高校生未内定者等の就職面談会」（11/19奥州市）への開催協力</li> <li>高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催（11/10千厩、11/11水沢工、11/25一関工、2月下旬花北青雲）</li> <li>建設業イメージアップカレンダーは令和2年度で終了。「建設業ふれあい事業」は今後も継続して実施予定</li> <li>進学校等を対象とした「いわてで働く！出前授業」の開催（12月上旬金ケ崎、2/15大迫）</li> <li>地域企業の先輩社員等を講師とした出前授業の開催（12/10水沢工、千厩（調整中））</li> <li>移住支援金制度の周知と対象法人登録の働きかけを実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校（工場見学11件、出前授業8件）、工業高校（出前授業31件）、普通高校の工場見学を実施（1校1件）したほか、10月以降の実施事業について関係企業との調整を実施</li> <li>教員向けミニ企業見学会の開催（8/3～8/6、延べ参加者数81人、参加企業数10社）</li> <li>上半期は検定試験中止のため、実技講習会の開催見送り</li> <li>企業訪問時にインターンシップ等の受入れ可能企業の情報収集を実施</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>遅れ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、工場見学件数が伸び悩み。上半期の検定試験中止を受け、実技講習会が中止</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において見学可能な企業と学校側の希望との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中高生を対象とした工業見学や出前授業の実施（随時）</li> <li>小学生対象の「ものづくり体験教室in工場」の開催（1月）</li> <li>教員を対象とした工業見学や出前授業の実施</li> <li>工業系高校が資格取得のため実施する実技講習会の開催支援</li> </ul>

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
④企業を支える人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善関連勉強会等受講者数：目標30人</li> </ul>	<p>(1) 地域企業の生産性の向上に向けた企業を支える優れた人材育成による企業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ものづくりいわて塾」「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催</li> </ul>
③移住定住の促進(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数(人)：目標 700人</li> </ul>	<p>(1) 市町と連携した県南圏域の魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ U・Iターン相談会における情報提供</li> </ul> <p>(2) 移住者が安心して活躍できる環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報交換会の開催</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催（初級編（全2回）受講者11人（7/16、7/28）、実践編（全6回）受講者10人（8/26、9/25））</li> <li>「ものづくりいわて塾」の実施に向け、受講者募集及び関係企業と調整（全3回、受講者11人）</li> <li>「いわて3Sサミット」の開催検討</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>順調</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス流行に伴う事業見直しにより、研修回数及び定員の見直しを実施</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修回数を減らしたことによる研修受講者へのフォロー</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善関連勉強会受講者数(人) 32人（9月末現在）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生産性向上のためのからくり改善勉強会」実践編の開催（10/23、11/27、12/17、2/19）</li> <li>TPM活動や他社の見学を通じ、改善の気づきを学ぶ「ものづくりいわて塾」の開催（10/16、11/13、12/11）</li> <li>「いわて塾」受講者OBに対する先進企業視察による研修受講者へのフォロー</li> <li>「いわて3Sサミット」の今後の開催検討に向けた実行委員会の開催</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町等との情報交換会の実施(7/28)</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>遅れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12/5に東京都でイベント開催予定であったが、本庁主催のイベントとの重複により、計画を変更して1/23に開催すべく調整中</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本庁事業との連携・調整による効果的な実施</li> <li>ポストコロナ時代における「南いわてへの移住・定住」機運を醸成・促進する効果的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本庁主催イベント(11/8～14)の開催状況等を勘案・検証のうえ、県南局としての移住・定住促進イベントをオンラインで開催</li> <li>ウィズコロナ・ポストコロナ時代における効果的な情報発信等のため、管内市町等との第2回情報交換会を開催</li> </ul>





地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域		
	重点施策	6 地域の魅力の発信による交流を広げます		
	〔基本方向〕 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめとする歴史・文化や自然景観のみならず、食、伝統工芸、体験などの多彩な地域資源を総合的に活用し、広域的に周遊し滞在する、顧客満足度の高い観光を促進するとともに、地域消費の拡大などを通じて、観光を核とした地域づくりを推進します。 外国人観光客をはじめ、国内外から多くの人に訪れてもらうため、関係機関等と連携した観光情報の発信や、誘客活動を推進するとともに、地域を訪れる国内外からの観光客等の受入態勢を整備し、ホスピタリティの向上を図ります。 生涯を通じて身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、地域資源を活用したスポーツ振興を図るとともに、スポーツツーリズムを通じた県内外の人々との交流拡大を支援します。 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめとする観光地へのアクセス向上やラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 釜石開催等の機会を捉えたインバウンドに対応するため、地域間の交流・連携の基盤となる道路整備を推進します。			
	重 点 指 標		現状 (2017)	目標値 (2020)
	県南圏域の観光入込客数 (延べ人数) (万人回)		1147.4万人回	1164.6万人回
	〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進 ② 国内外からの観光客、国際リニアコライダー ( I L C ) の研究者やビジネス客等の受入に係るホスピタリティ向上 ③ 教育機関や国際リニアコライダー ( I L C ) の関係者等との連携による海外との相互交流の推進 ④ 地域と連携したスポーツツーリズムの振興 ⑤ 観光地へのアクセス向上や地域の魅力を高めるための道路整備の推進			

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
<p>①世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平泉町、一関市及び奥州市の観光入込客数（延べ人数）：目標 580.8万人回</li> </ul>	<p>(1) 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産連携推進実行委員会の構成団体として、平泉世界遺産祭等の誘客事業に参加</li> <li>「ケロ平」を活用したPR（イベントでの誘客、SNSを活用した発信）</li> </ul> <p>(2) 国内教育旅行の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸圏域を含む連絡会議の設置、教育旅行担当教員の招聘やモニターツアーを実施</li> </ul> <p>(3) 中京圏からの誘客拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中京圏の企業と連携した交流イベントにおける観光PRを実施するとともに企業研修のフォローを実施</li> </ul> <p>(4) 管内市町・団体や県際地域と連携した観光推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町・団体との連絡調整、東北DCに係る連携及び情報発信、岩手・宮城県際観光研究会に係る連絡調整</li> </ul>
<p>②国内外からの観光客、国際リニアコライダー（ILC）の研究者やビジネス客等の受入に係るホスピタリティ向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県南圏域での宿泊者数（万人泊）：目標 189.6万人泊</li> </ul>	<p>(1) 外国人観光客受入推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客の受入に係る個別研修の開催</li> <li>宿泊施設を対象とした研修会の開催</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産連携推進実行委員会総会における意見を踏まえ、事業提案（6/2）。その他の事業（「平泉世界遺産祭」開催、まるごとっぽん「おすすめふるさと」出展、LINE公式アカウント開設等）を計画どおり実施</li> <li>「平泉世界遺産祭」（9/5、6）、「ゆるキャラグランプリ」等のイベントを契機としたPR</li> <li>YouTubeチャンネルを開設するとともに、SNSを活用し、県南の観光情報を発信するなど、オンラインでの発信を重点的に実施</li> <li>沿岸圏域を含む連絡会議の開催（7/9）</li> <li>横須賀市立武山中学校（8/5～7）、東久留米市立下里中学校（9/26、27）の事前視察招聘</li> <li>東京事務所における誘致活動（5校）</li> <li>新型コロナウイルス感染収束後の誘客に向けて名古屋事務所や中京圏の企業からの情報収集</li> <li>㈱豊田自動織機社食フェア（6/1～5、7/14～24）、㈱デンソー社食フェア（7/13～8/7）におけるPR</li> <li>新型コロナウイルス感染症対応に係る市町及び広域振興局等連携会議において意見交換（5/28、29）</li> <li>県庁関係課とともに市町、商工団体、観光協会に対して新型コロナウイルス感染症対策追加支援施策に係る説明会を開催（6/17）</li> <li>市町と連携し、東北DCに向けた観光素材を収集し、専用サイトに登録（9/18現在195素材、内特別素材：13）</li> <li>東北DC岩手県観光商談会（9/2）・エクスカーション（9/4）への参加。サポーター企画（Welcome to TOHOKU隊）の実施に向けた調整</li> <li>岩手・宮城県際広域観光の促進について、新規ポータルサイトへの移行や老朽化した広域観光案内板の処理を推進</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>遅れ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業に遅れがみられる</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産連携推進実行委員会におけるR3年度事業に向けた検討が必要</li> <li>「ケロ平」を活用する機会の減少（イベントへの出展、着ぐるみの貸出）</li> <li>ウィズコロナの時代における教育旅行の課題の把握</li> <li>中京圏からの誘客の取組の方向性について検討が必要</li> <li>DCに向けた観光素材について、さらなる磨き上げが必要</li> <li>県際広域観光におけるR3年度事業の検討の必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>局の提案事業について、世界遺産連携推進実行委員会事務局を支援</li> <li>世界遺産連携推進実行委員会の次年度事業の検討</li> <li>「ケロ平」の「ゆるキャラグランプリ」10/3、4）でのPR、ノベルティグッズの作成、10周年に向けた取組の検討</li> <li>民間事業者におけるイラストの利用促進</li> <li>教育旅行の招聘の結果を踏まえ、第2回連絡会議を開催し、今後の教育旅行の誘致に向けた課題を共有</li> <li>教育旅行誘致に係る新規開拓について、沿岸局大船渡地域振興センターと連携し対応</li> <li>地元企業を通じて旬菜ごほうびフェアなどを発信するとともに、アイシン精機㈱及び㈱豊田自動車織機社食フェア（11月）においてPRを実施</li> <li>県南広域圏市町観光担当者情報交換会の開催（11/30）</li> <li>東北DCサポーター（Welcome to TOHOKU隊）の募集に係る市町に対する支援（10/30～8/31）</li> <li>プレミアム旅行商品の開発に係るDMOに対する支援（県観光プロモーション室と連携）</li> <li>岩手・宮城県際観光推進研究会の開催（2月予定）及び老朽化した県際観光案内板処理</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>個別研修を受ける前に基本知識を習得することを目的とした動画をYouTubeに掲載（3本）</li> <li>個別研修（南いわてインバウンド塾）の告知（9/23）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおり進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設における外国人観光客の受入態勢整備の優先順位の低下</li> <li>宿泊施設における宿泊助成終了後を見据えた取組が不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別研修の実施（10/27）</li> <li>当初想定 of 観光施設以外にもターゲットを広げた受講需要の掘り起こし</li> <li>宿泊施設を対象とした研修会の開催を検討（宿泊施設の魅力・競争力向上等）</li> </ul>

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
③教育機関や国際リニアコライダー（ILC）の関係者等との連携による海外との相互交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県南圏域での外国人宿泊者数：目標 9.5万人泊</li> </ul>	<p>(1) 教育旅行を通じた台湾との相互交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 訪日教育旅行の受入学校における生徒間交流の支援</li> </ul>
④地域と連携したスポーツツーリズムの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ施設入場者数：目標338万人</li> </ul>	<p>(1) 地域のスポーツ資源とスポーツアクティビティの魅力の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域のスポーツ資源やアクティビティのHPや観光情報SNSでの情報発信</li> </ul> <p>(2) 東京2020オリ・パラのキャンプ地やホストタウンと関係国との交流を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町の取組状況の情報収集</li> <li>○ 地域経営推進費による支援</li> </ul> <p>(3) マラソン等連携事業など市町との連携による地域の魅力づくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県南レジェンドランナーズの実施</li> <li>○ 県南広域スポーツ等連携実行委員会での情報共有</li> </ul>
⑤観光地へのアクセス向上や地域の魅力を高めるための道路整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光地へのアクセス道路整備延長：目標9,470m</li> </ul>	<p>(1) 高規格道路等を有効に活用し、県内各地の観光地を周遊する道路の整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国道342号一関市白崖、国道396号遠野市内楽木、国道397号奥州市小谷木橋、花巻大曲線小倉山、釜石遠野線笛吹峠等において事業を実施</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響による国際線及び海外渡航の再開目途が立たず、日台の受入学校での検討が止まっているため、取組なし</li> <li>JNTO主催の教育旅行国内商談会は中止</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>遅れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組の進展なし</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の収束後の対応を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて関係機関から情報収集</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>南いわてスポーツカレンダー発行によるスポーツ施設やイベント情報の発信（再掲）</li> <li>いわてスポーツコミッションHPや振興局の観光情報SNSでイベント情報等を発信</li> <li>サイクリング・ウォーキングコースの利用促進（リーフレット配布）（再掲）</li> <li>聖火リレーシミュレーションや会議等による情報収集</li> <li>県南レジェンドランナーズのオンライン企画やプロギングDAY（9/27）の実施、情報発信、次年度以降の事業展開の検討</li> <li>実行委員会での新型コロナ対策等の情報共有</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>遅れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響でスポーツイベント中止が相次ぎ、内容を見直し8月から再開（再掲）</li> <li>県南レジェンドランナーズ対象のマラソン大会の中止が相次ぎ、代替の取組を実施</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた事業の実施</li> <li>新型コロナウイルス感染防止対策に係る市町との情報共有</li> <li>県南レジェンドランナーズの事業展開の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南いわてスポーツカレンダーの発行（10-12月号、1-3月号）により、スポーツイベントや健康づくり情報のほか、新しい生活様式に配慮した取組の情報を積極的に発信（再掲）</li> <li>関係機関と連携したスポーツ資源やスポーツアクティビティの情報発信の強化</li> <li>サイクリング・ウォーキング情報の充実と情報発信（サイクリング情報の拡充）</li> <li>市町の意向を把握しつつ、オリ・パラ大会のキャンプ地やホストタウン交流事業を支援</li> <li>県南レジェンドランナーズ記録会（11/14）や追加のオンライン企画の実施、今後の事業展開に向けた市町との協議</li> <li>市町との新型コロナ対策の情報共有</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全箇所において事業実施中</li> </ul>	<p>【進捗状況】<b>順調</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により、事業の進捗管理を行う</li> </ul>



地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域		
	重点施策	7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります		
	〔基本方向〕 国際リニアコライダー（ILC）実現を契機とした地域の国際化を見据え、ILC関係者が地域コミュニティの一員として安心して暮らせるよう、受入態勢整備を進めます。 魅力と活力ある持続可能な地域社会の形成を進めるため、多様な主体が活躍する機会の提供等により、県民一人ひとりが地域の担い手として活躍できるよう取り組むとともに、住民やNPO法人等の多様な主体による地域コミュニティづくりや、市町と県との連携又は市町間の連携などによる広域的な課題への取組を進めます。			
	重 点 指 標		現状（2017）	目標値（2020）
	食料品製造出荷額（億円）		837億円	861億円
	〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 地域食材を生かした魅力的な地域づくりの支援と交流人口の拡大 ② 国内外への取引拡大の推進 ③ 「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の推進			



取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①地域食材を生かした魅力的な地域づくりの支援と交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消イベント参加人数(人)： 目標19,200人</li> </ul>	<p>(1) 地域の特色ある食材を切り口とした体験型イベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旬彩ごほうびフェアの開催(10月、2月)</li> <li>着地型旅行商品造成に向けた取組</li> <li>首都圏シェフによる産地視察</li> <li>次年度以降のフェアの体制に係る関係者間協議</li> </ul>
②国内外への取引拡大の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>商談会での取引成立件数： 目標110件</li> </ul>	<p>(1) 商談会等を活用した販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県主催商談会への出展支援</li> <li>仙台圏大手卸売企業(国分東北株)主催商談会への出展</li> <li>中京圏社食フェアの開催支援</li> </ul> <p>(2) インターネット通販の取組拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットショップ開業セミナーの開催</li> </ul> <p>(3) 地域食材の輸出拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>釜石港国際物流ルート構築実証実験</li> </ul>
③「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業間連携プロジェクト支援件数(累計)： 目標19件</li> <li>ネットワーク組織参加団体数(団体)： 目標400団体</li> </ul>	<p>(1) 食クラネット連携体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会、定例総会、ビジネス交流会の開催</li> <li>ネットワークを活用した連携ビジネスの創出及び取引拡大の推進</li> </ul> <p>(2) 個々の企業の経営課題への解決支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門家派遣事業(マーケティング、情報発信、HACCP)</li> <li>HACCP導入支援(保健所主催説明会等の周知)</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>旬彩ごほうびフェア内容検討（感染症対策、効果的PR手法等）及び参加店募集</li> <li>フェアPRテレビ番組及び専用HP作成企画コンペ開催、番組制作に向けた取材調整</li> <li>収穫体験主催者との内容調整及び参加募集PR協力</li> <li>旅行商品造成に係る旅行会社招請の調整</li> <li>首都圏シェフへの食材紹介及び産地視察招請の調整</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェアの集客増に向けた取組</li> <li>新型コロナ流行状況を踏まえた首都圏シェフの産地視察の実施判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旬彩ごほうびフェアの開催（10/1～10/31、2月）</li> <li>フェアを盛り上げるPR企画実施（テレビ番組（10/2、5きげんテレビ）と専用HPでのPR、満足度No.1メニューグランプリ表彰（11月下旬））</li> <li>次年度フェアのあり方検討</li> <li>収穫体験＋青空ランチ開催及び旅行会社招請（10/25）</li> <li>シェフ産地視察への対応</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>国分東北(株)主催商談会中止（7月開催分）に伴う販路拡大事業内容見直し検討</li> <li>豊田自動織機社食フェア（6/1～5、7/14～24）</li> <li>(株)デンソー社食フェア（7/13～8/7）（再掲）</li> </ul> <p>ネットショップ開業セミナーの開催方法見直し検討（⇒座学からオンライン配信に変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出に関する新型コロナの影響を考慮したうえでの実証実験内容見直し検討</li> <li>実証実験委託契約と参加企業募集（8月～）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> <li>ネットショップ開業セミナーは状況に対応してオンライン配信により実施</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県主催商談会への参加企業数減に伴う取引成立件数の減少</li> <li>釜石港国際物流ルート構築実証実験参加企業の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県主催商談会出展支援（10/29名古屋、11/24盛岡、1/26大阪、2/8仙台、2/17～19東京）</li> <li>仙台圏販路拡大事業の実施（1月開催商談会への出展及び食クラネットで開催するビジネス交流会へのバイヤー招請）</li> <li>アイシン精機(株)及び(株)豊田自動織機社食フェア（11月）（再掲）</li> <li>ネットショップ開業セミナー配信（全4回） 10/19～、10/29～、11/12～、11/26～</li> <li>リーファーコンテナ輸送実験の実施（10月2件、12月以降1件調整）</li> <li>小口混載輸送実験の実施（11月下旬）</li> <li>今年度の実証実験の検証</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回運営委員会書面審議（7/3）</li> <li>定例総会書面審議（7/20）</li> </ul> <p>専門家派遣 マーケティング（6社）、情報発信（10社）、HACCP（2社）⇒9月末時点計18社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健所主催HACCPワークショップ（9/29：3社）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス交流会内容検討</li> <li>企業間連携プロジェクトの内容検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食クラネット運営委員会開催（10月、2月）</li> <li>ビジネス交流会開催（2月）</li> <li>企業間連携プロジェクト参加への働きかけ</li> <li>専門家派遣（通年）</li> <li>保健所主催HACCPワークショップ（10/22、11/17）、説明会（11/18）、</li> </ul>



地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域			
	重点施策	8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます			
	〔基本方向〕 世界遺産「平泉の文化遺産」を地域の財産として次世代に確実に継承していくために、その価値・理念の普及と県内外への魅力発信を推進します。 また、地域の民俗芸能や伝統工芸、歴史文化など次世代への継承に向けた取組を支援します。多様な文化芸術の創作活動へ参加・鑑賞できる機会の提供等を推進するため、文化芸術活動への支援や、文化をめぐる新しい動向を踏まえた文化芸術の新たな魅力発信を推進します。 国内外の観光客等が地域の文化芸術に触れ、親しみを持つことができるよう、地域の文化財や文化芸術活動の魅力伝える人材の育成を支援します。				
	重 点 指 標		現 状 (2017)	目 標 値 (2020)	
	公立文化施設における催事数 (件)		562件	580件	
	〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信 ② 文化芸術と触れ合う機会の創出 ③ 地域の文化財や文化芸術活動の魅力伝える人材の育成				

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産等の来訪者数：目標224.5万人回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「平泉の文化遺産」の価値・魅力の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平泉世界遺産の日の普及啓発のためのポスター作成・配布</li> <li>○ 平泉の理念と魅力の普及に向けた幼稚園等への出前授業の実施</li> </ul> </li> <li>(2) 伝統産業の販路拡大促進や魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援（再掲）</li> <li>○ オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、情報発信を支援（再掲）</li> </ul> </li> </ul>
②文化芸術と触れ合う機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設入場者数：目標86.3千人</li> <li>文化芸術活動研修会参加者数〔累計〕：目標50人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県文化芸術コーディネーター設置による相談、情報収集・発信等での支援</li> <li>○ 若者文化振興事業費補助金による文化芸術活動の支援と機会の創出</li> </ul> </li> <li>(2) 文化芸術コーディネーター、関係機関のネットワーク強化と講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化ホール催事企画の充実に向けた研修会を開催</li> </ul> </li> <li>(3) 文化芸術への参加意欲の醸成と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いわての文化情報大辞典」等での情報発信</li> </ul> </li> </ul>
③地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>講習会参加者数〔累計〕：目標100人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボランティアガイド研修会等の開催</li> </ul> </li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>平泉世界遺産の日ポスター作成・配布(830枚)</li> <li>平泉町等との連携による平泉世界遺産の日の普及啓発や関係団体と連携した情報発信</li> <li>幼稚園・保育園を対象としたケロ平・きよひらくん紙芝居による出前授業の調整</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「動画編集・LIVE配信についての勉強会」を開催(9/11)(再掲)</li> <li>「ON-LINE五感市」開催に向けて役員協議等に参画(実行委員会は書面協議)(再掲)</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園等を対象とした出前授業の実施(10/31平泉町)</li> <li>来年度の世界遺産登録10周年に向けた取組構築</li> <li>関係機関との情報共有と連携強化</li> <li>来年度開館の新ガイダンス施設にかかる情報収集</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ON-LINE五感市開催10/31~11/1、視聴者参加企画は12月末まで(再掲)</li> <li>実行委員会役員会において、来年度以降の開催方法検討(再掲)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>県文化芸術コーディネーターによる活動支援や新型コロナ対策支援情報の周知(再掲)</li> <li>若者文化振興事業費補助金による高校演劇のオンライン配信と舞台技術講座等によるスキルアップの支援(再掲)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動支援ネットワーク会議で新型コロナ対策をテーマとした研修を実施(参加者9/1:18名、9/30:16名計34名)(再掲)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いわての文化情報大辞典」や振興局のSNS等での情報発信</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた事業内容に見直し実施</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた事業の実施</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <p>文化芸術活動研修会参加者数(人)〔累計〕:63人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術コーディネーター等関係機関と連携した活動支援と情報発信</li> <li>管内の団体や関係機関への新型コロナ対策関連を含む支援情報の提供(補助金等支援制度の周知)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド団体等の意向調査等、今年度の事業内容を検討</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド研修会の開催(2回、12月下旬又は1月中旬)。平泉の文化遺産のほか地域の伝統産業等も題材として実施</li> <li>世界遺産登録10周年に向けた取組と連動させながら研修内容を検討</li> </ul>



地域振興プラン (2019~2022)	圏域の振興施策 の基本方向	Ⅳ 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する 地域			
	重点施策	9 企業の経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農 村地域の活性化を進めます			
	〔基本方向〕 地域農業をけん引する企業の経営体を育成するため、認定農業者等の経営力の向上や規模拡大の取 組等を促進するとともに、ほ場整備等を契機として、農地の集積・集約化などによる効率的な地域 営農体制の構築を支援するほか、将来の産地を担う新規就農者の確保・定着を図ります。 また、収益性の高い産地形成を進めるため、県オリジナル水稲新品種のブランド確立や、園芸・畜 産の大規模経営体の育成、労働力の安定確保等を図るとともに、安全・安心で高品質な農畜産物の 生産や一層の高付加価値化に向けた6次産業化等を促進します。 さらに、農村地域でのいきいきとした暮らしの継承に向け、小規模兼業農家も参加した地域ビジョ ン等の作成とその実現に向けた実践活動のほか、企業との協働・連携活動、都市住民等との交流な ど、農村資源の保全や活用による地域づくりの取組を促進します。				
	重 点 指 標		現状 (2017)	目標値 (2020)	
	農業産出額 (億円)		974億円(2016)	979億円(2019)	
	〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 産地をけん引する企業の経営体の育成 ② 競争力の高い米産地の育成 ③ 園芸産地の生産構造の強化 ④ 畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進 ⑤ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進 ⑥ 協働・連携による農村地域の保全・活性化				



取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①産地をけん引する企業的経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業的経営体の育成数： 目標42経営体</li> <li>・ 集落型農業法人数： 目標182法人</li> <li>・ 認定新規就農者数： 目標92人</li> <li>・ 水田整備面積： 目標13,785ha</li> </ul>	<p>(1) 地域農業マスタープランの実質化・実践及びほ場整備事業による生産基盤の整備、農地の集積・集約化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ マスタープラン実質化・実践支援</li> <li>○ ほ場整備事業の計画的な実施と新規地区掘り起し</li> <li>○ 農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化の推進</li> </ul> <p>(2) 企業的経営体の育成や集落営農組織等の法人化や経営の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業的経営体*の育成に向けた支援</li> <li>※ 売上3000万円又は所得1000万円</li> <li>○ 集落営農組織の法人化と経営の高度化の支援</li> </ul> <p>(3) 新規就農者の確保及び自立支援や青年・女性農業者の活動強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新規就農者の確保及び就農後の自立支援</li> <li>○ 若手や女性グループの活動支援</li> </ul>
②競争力の高い米産地の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県オリジナル新品種販売数量： 目標3,700 t</li> </ul>	<p>(1) 「金色の風」、「銀河のしずく」等の高品質・良食味生産と多様なニーズに対応した生産販売・流通体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高品質・良食味米生産支援</li> <li>○ 生産販売・流通体制の構築支援</li> </ul> <p>(2) 低コスト技術の普及拡大及びスマート農業技術の導入促進、水田における土地利用作物の生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低コスト生産技術の普及拡大</li> <li>○ スマート農業技術の実証・展示</li> <li>○ 大豆栽培等土地利用作物の生産性向上支援</li> </ul>
③園芸産地の生産構造の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点園芸品目の系統販売額： 目標4,836百万円</li> <li>・ 販売額1,000万円以上の園芸農家戸数： 目標：86戸</li> </ul>	<p>(1) 団地形成の促進等による大規模経営体の育成、スマート農業術による生産性向上、JA無料職業紹介所や農福連携による労働力確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県単事業*を活用した大規模経営体の育成</li> <li>※ いわて型野菜トップモデル産地創造事業</li> <li>○ スマート農業技術の活用による省力化支援</li> <li>○ 労働力の安定確保</li> </ul> <p>(2) 花き・果樹の実需者ニーズに対応した安定的・効率的な生産出荷体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニーズに対応した品種構成や安定出荷への支援</li> </ul>

第2 四半期までの取組状況	第2 四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マスタープラン実質化に向けて、各市町が開催する推進チーム会議や地区ごとの検討会等での助言</li> <li>・ ほ場整備事業に係る関係法令等について確認する事前審査会や工事の進捗管理、新規採択に向けた住民説明会の開催</li> <li>・ 農地の集積・集約化を推進するためモデル地区を設定し、農地中間管理事業の活用に向けた計画作成等の指導・助言</li> <li>・ 支援経営体候補リストアップや重点指導農業者への「いわて農業経営相談センター」の専門家（税理士、社労士）派遣による個別指導</li> <li>・ 集落営農実践塾や法人化個別相談会、法人化推進研修会を開催</li> <li>・ 新規就農者確保のためワンストップ就農相談窓口での相談対応や就農後の技術向上のためのベテラン農家による指導</li> <li>・ 女性グループが取り組む商品開発等活動に対する食品加工技術やマーケティング等の情報提供</li> </ul>	<p>【進捗状況】 <u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】 特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度内のマスタープランの実質化に向けて地域での話し合いの継続支援</li> <li>・ ほ場整備工事の進捗管理、R3計画確定地区の土地改良法の手続き等</li> <li>・ モデル地区を中心に話し合いの継続支援</li> <li>・ 支援対象者への課題解決に向けた継続支援や相互研鑽の研修会開催</li> <li>・ 集落営農実践塾や相談会の継続開催、法人経営力向上セミナー等開催（11月）</li> <li>・ 就農相談窓口の継続実施や個別巡回支援</li> <li>・ 女性農業者等を対象の研修会の開催（2月）や4HCの活動支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「金色の風」の多収栽培モデルほ場の設置（奥州5、一関2）や現地指導会や個別巡回指導、「金色の風だより」の発行（10月まで5回発行）</li> <li>・ 金色の風サポーターの募集・登録（71名）</li> <li>・ オンラインによる産地交流会開催や地元温泉旅館とのコラボ企画による銀河のしずくPR</li> <li>・ 高密度短期育苗や直播を行うモデル農家への除草や施肥等の栽培技術等管理指導</li> <li>・ 可変施肥ロボット田植機、ラジコン草刈機、食味・収量センサー付きコンバインの実演会の開催、除草ロボットによる畦畔除草等を実証・展示</li> <li>・ 大豆の排水対策や病害虫等の適期防除指導、加工用じゃがいもの商品化率向上のための栽培密度を検証する実証ほの設置</li> </ul>	<p>【進捗状況】 <u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】 特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実証ほの栽培結果に基づく実績検討</li> <li>・ オンラインツアー（2回目）の実施や地元中学校での出前授業の開催、「銀河のしずく」頂上コンテスト参加誘導</li> <li>・ モデル農家の実績とりまとめ、課題の整理・検討</li> <li>・ スマート農業技術の理解醸成のためシンポジウムの開催（2月）</li> <li>・ 大豆の収量調査（11月）、実証ほ成績とりまとめ、課題の整理・検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピーマンハウス整備及びねぎの調製管理機械の導入支援やサポートチームによる栽培管理指導</li> <li>・ 環境モニタリングシステム機器導入のため事業活用支援や環境制御機器を整備した農家の管理指導</li> <li>・ JA無料職業紹介所の求人募集の周知や雇用情報等の提供、福祉施設の指導員を対象とした農作業見学会や農福連携支援員による農家と福祉事業所のマッチング</li> <li>・ りんごオリジナル品種等への改植に向けた意向調査、トルコキキョウのブランド化のためのベテラン農家と連携した指導会の開催、小ぎくの新規栽培者向け技術習得のためのセミナーを開催</li> </ul>	<p>【進捗状況】 順調</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】 特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピーマンハウス団地の整備事業完了に向けた支援</li> <li>・ ハウス内環境モニタリングデータ活用による環境制御技術の勉強会</li> <li>・ JA無料職業紹介所のマッチングの継続支援、農作業請負契約締結後のフォローアップ、（仮称）県南地域農福連携推進連絡会の設置（R3.1月予定）</li> <li>・ 意向調査の取りまとめや検討会の開催、小ぎく新規栽培者を対象とした栽培指導会の継続</li> </ul>

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
④ 畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>繁殖牛20頭以上の経営体数：目標167経営体</li> </ul>	<p>(1) 新技術の導入や飼養管理方式の改善による生産性の向上、素牛導入、施設整備等による生産基盤強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 飼養管理改善や疾病対策農家への支援</li> <li>○ 牛舎等の整備や素牛導入の支援</li> </ul> <p>(2) 外部支援組織の機能強化や良質な自給飼料確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共牧場の牧草管理やキャトルセンターの飼養管理改善支援</li> <li>○ コントラクター組織の育成・活用による粗飼料の確保支援</li> </ul>
⑤ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発等の支援による6次産業化件数：目標6件</li> </ul>	<p>(1) 農畜産物ブランドの安定的な生産体制づくりとPR活動やブランドの評価向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安定的な生産体制づくりへの支援</li> <li>○ ブランド化のためのGAP認証の推進</li> </ul> <p>(2) 地域資源を活用した6次産業化や起業化支援、産直施設の運営改善や販売拡大支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 起業化及び6次産業化支援</li> <li>○ 産直の情報発信や制度改正に伴う対応支援</li> </ul>
⑥ 協働・連携による農村地域の保全・活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ビジョンに基づく実践活動実施集落数：目標13件</li> <li>地域共同活動による農地等の保全管理への参加人数：目標59,534人</li> <li>グリーン・ツーリズム交流人口：目標500千人回</li> </ul>	<p>(1) 「地域ビジョン」の実践支援や企業や都市住民と農村の協働・連携活動促進、食や農村文化の維持・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域ビジョン実践支援及び新規地区掘り起こし</li> <li>○ 企業等と地域団体が連携した活性化支援</li> <li>○ 都市住民との交流支援</li> <li>○ 食と農村文化の維持・継承</li> </ul> <p>(2) 生産基盤や多面的機能の維持・保全体制の構築や農業水利施設の防災減災対策、鳥獣被害防止の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本型直接支払制度の活用による地域の機能維持・保全</li> <li>○ 農業水利施設の防災減災対策の取組</li> <li>○ 農作物の鳥獣被害防止</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>酪農・肉牛サポートチームによる飼料給与メニューの見直し等飼養管理等改善の指導や乳房炎ワクチン実証農家や牛伝染性リンパ腫の対策を行うモデル農家への分離飼養等の指導</li> <li>畜産公共事業等を活用した施設整備や家畜導入の支援</li> <li>牧草地の管理省力化のためドローンによる施肥・播種の実証、良質な粗飼料を確保するため土壌改良資材の施用指導、キャトルセンターのほ育牛施設的设计・設置指導</li> <li>広域コントラクター（県農業公社）と地域コントラクターの作業調整や省力的かつ良質な粗飼料確保のための収穫作業技術の指導</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <p>特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別課題解決のための継続指導</li> <li>乳房炎ワクチンや牛伝染性リンパ腫感染防止対策の効果確認</li> <li>施設整備や家畜導入の事業完了に向けた支援</li> <li>省力化等実績取りまとめ、キャトルセンターの運営検討会等</li> <li>GPS付きトラクタによる草地の追肥作業の省力化やコントラクターの設立支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>二子さといもの生産拡大に向けた栽培管理指導</li> <li>西わらびのGI認証申請手続の助言と栽培現地研修会の開催</li> <li>稲作・園芸農家、農業高校に対するGAP取得継続及び新規取得に向けた研修会開催や個別指導</li> <li>6次産業化プランナーの派遣による個別指導や個別相談会の開催</li> <li>業務用商品の開発・販売のための実需者ニーズ調査</li> <li>Facebookによる産直の情報発信やイーハトーブログを活用したイベントPR</li> <li>食品衛生法改正に伴うHACCPに沿った衛生管理の相談対応や研修会の開催</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <p>特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二子さといも選果機整備支援や面積拡大に向けた種いも貯蔵調査の継続</li> <li>西わらびの加工品開発支援</li> <li>県版GAP取得者掘り起こし、継続取得及び農業高校の現地審査に向けた支援</li> <li>実需者と農業経営者のマッチング支援</li> <li>食品衛生法改正※に向けた研修会の開催（3月）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域ビジョン」の計画作成への助言や収穫祭など地域活性化の取組みを支援する事業の活用支援</li> <li>首都圏企業と地域団体の連携による遊休農地の活用による地域活性化支援</li> <li>簡易宿泊所許可申請の手続きに関する助言や農家民宿経営者等の情報交換会の開催</li> <li>食の匠の動画撮影（DVD）及び図書館等への提供、新規「食の匠」の推薦</li> <li>多面的機能支払、中山間等直接支払、環境保全型農業直接支払交付金事業の進捗管理</li> <li>農業利水施設の長寿命化事業の円滑な実施やため池ハザードマップを市町が作成する際、必要な被害予測条件等の情報提供</li> <li>県南広域の鳥獣被害に係る情報共有のための「県南地域野生鳥獣被害防止連絡会」の開催</li> <li>各市町の被害防止計画の見直しへの助言や鳥獣被害防止のための電気さく設置にかかる講習会の開催</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画通りに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン・ツーリズム交流人口の回復</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化のための事業の活用支援と新規対象地区の掘り起こし</li> <li>世界農業遺産認定申請2次審査対応</li> <li>緊急対策事業の導入支援や簡易宿泊所許可申請支援や農家民宿先進地研修（11月）</li> <li>遠野緑峰高校生を対象とした食の匠の技術伝承（12月）</li> <li>事業の適正執行と進捗管理</li> <li>ため池ハザードマップの作成支援</li> <li>鳥獣被害防止のための研修会（11月）</li> </ul>



地域振興プラン (2019～2022)	圏域の振興施策 の基本方向	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する 地域		
	重点施策	10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します		
	〔基本方向〕 担い手の育成・確保及び先進的な技術の導入や、低コスト林業による森林資源の循環利用を進めるとともに、特用林産物のブランド力の回復と販路拡大に取り組みます			
	重 点 指 標		現状 (2017)	目標値 (2020)
	木材生産額 (百万円)		5,120百万円	5,160百万円
	〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 森林・林業の理解促進やイメージアップによる担い手の育成・確保 ② 森林施業の集約化の促進や情報通信技術（ICT）の導入等による林業経営の効率化 ③ 低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給 ④ 特用林産物の産地再生とブランド力の回復 ⑤ 地域に根ざした特用林産物の生産振興			

取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
①森林・林業の理解促進やイメージアップによる担い手の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業技能者数〔累計〕： 目標190人</li> </ul>	<p>(1) 森林・林業への理解醸成や就労者の確保に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講座や現場体験の実施</li> </ul> <p>(2) 知識と技術を備えた現場技術者の育成・確保を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術研修の開催</li> </ul>
②森林施業の集約化の促進や情報通信技術（ICT）の導入等による林業経営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営計画認定面積： 目標54,000ha</li> </ul>	<p>(1) 「意欲と能力のある林業経営体」を育成・強化します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施業プランナーの育成</li> <li>○ 機械設備の導入支援</li> <li>○ 経営基盤強化支援</li> </ul> <p>(2) 効率的な林業経営のため、森林施業の集約化を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林経営計画の作成支援</li> <li>○ 森林経営管理制度に係る市町支援</li> </ul> <p>(3) 境界確認や現況調査等の効率化を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報通信技術（ICT）等の活用促進</li> </ul>
③低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>再造林面積： 目標190人</li> <li>県産材供給量： 目標510千m<sup>3</sup></li> </ul>	<p>(1) 安定供給のため、林業・木材産業等関係者間の情報共有を進め、公共施設や非住宅等への木材利用の促進に取り組みます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報共有</li> <li>○ 公共建築物等整備支援</li> <li>○ 木材供給支援</li> <li>○ 木材利用のPR</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>林業アカデミーオープンキャンパスへの参加(7/27, 28: 生徒9名、保護者及び教師7名)</li> <li>講座や体験等の実施 花巻農業高校(7/30: 2名) 杜陵高校奥州校(7/31: 1名) 岩谷堂高校(9/16: 18名)</li> <li>林業アカデミー推薦選考合格5名</li> <li>伐木技術普及研修会の企画と傘下に向けた働きかけ</li> <li>森林技能者研修への参加働きかけ</li> <li>新作業システム導入支援実施に向け、デモンストラーションを検討したが、コロナの影響により現場や機械のスケジュール調整ができず断念</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労確保の取組は継続的に行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民参加の森づくり促進事業による森林教室、枝打ち体験等支援(10, 11月)</li> <li>体験講座の実施(一関修紅高校、水沢工業高校)</li> <li>森林組合による高校での就労説明支援(花巻)</li> <li>伐木技術普及研修会を実施(県南:10/9、花巻:10/29、一関・遠野:11月)</li> <li>研修への参加働きかけ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>施業プランナー資格取得支援に向けた取組(花巻: 7/16, 29, 8/5, 19)</li> <li>リーディングプランナーによる事業体支援の企画と参加に向けた働きかけ</li> <li>高性能林業機械のリース支援(4機関、5台)</li> <li>森林組合に対する経営検討委員会等を通じた改善指導(西和賀8/4、奥州7/31、8/30、9/18)</li> <li>新規計画作成指導</li> <li>森林整備活動支援交付金の活用指導</li> <li>制度運用に係る市町幹部職員との意見交換(一関: 5/25, 8/5)</li> <li>地区対策会議等の開催(一関: 6/23)</li> <li>意向調査実施地区及び時期の決定</li> <li>スマート林業事例研修(最新型高性能GPS測量)の実施に向けて関係機関と調整。</li> <li>地上レーザ計測調査に係る打合せ(一関: 7/6)</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営計画実行管理体制の整備</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月末認定実績 43, 235ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施業プランナー資格取得に向けた研修実施(花巻: 11月)</li> <li>2事業体への支援(花巻)</li> <li>引き続き改善指導を実施</li> <li>森林経営計画実行状況の確認</li> <li>森林経営計画の更新及び作成促進に向けた巡回指導</li> <li>森林経営計画実行管理体制の整備支援</li> <li>意向調査に向けた支援及び進捗管理</li> <li>地区対策会議の開催(一関: 10/1、12月、3月)</li> <li>GNSS観測別の精度と実用性の比較(10/6~8)</li> <li>森林測量調査GNSSシステムの普及研修(11/13西和賀町、11/17一関市)</li> <li>地上レーザ計測調査(一関)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>遠野木工団地内における各事業体の定例会等への参加及び経営管理指導(遠野)</li> <li>花北地域木材安定供給促進会議(花巻: 7/9)</li> <li>第1回一関市カスケード利用協議会(7/22)</li> <li>木造公共建築物等整備支援事業に着手(花巻)</li> <li>林業成長産業化総合対策事業、合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業による搬出間伐の実施</li> <li>いわてヤタイによる木材利用PR(花巻: 6回)</li> <li>地域材を使用した新商品の試作(一関: 9/18)</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木材の需給調整及び非住宅等への木材の利用</li> <li>低コスト林業を推進するための集約化や機械化等の基盤整備</li> <li>ナラ枯れ被害の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事会・定例会に参加</li> <li>経営管理指導(10/6)</li> <li>岩手県公共施設・公共工事木材利用推進県南広域地方支部会議の開催(県南: 10/19)</li> <li>県南広域木材需給連絡会議の開催(県南)</li> <li>木造公共建築物等整備の進捗管理(花巻)</li> <li>事業の進捗管理</li> <li>いわてヤタイのPRと活用促進</li> <li>新商品の改善点や市町等への普及方法等の検討</li> <li>試作品を活用した普及啓発(一関: 10月~)</li> </ul>



取組項目	指標の状況	取組内容(実施計画)
③低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給		<p>(2) 低コスト林業のため、一貫作業及び搬出技術等の研修会を開催します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一貫作業の促進</li> <li>○ 路網整備</li> </ul> <p>(3) 被害材等未利用資源の有効活用を促進します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 樹種転換の促進</li> </ul> <p>(4) ナラ枯れ被害防止を図るため、伐採・更新(若返り)を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伐採利用の促進</li> </ul>
④特用林産物の産地再生とブランド力の回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乾しいたけ植菌本数(千本)：目標126千本</li> </ul>	<p>(1) 原木しいたけの産地再生を図るため、生産体制の整備や後継者の育成に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出荷制限解除</li> <li>○ 栽培管理指導の実施</li> <li>○ 原木等生産資材の導入支援</li> </ul> <p>(2) ブランド力回復のため、地元消費に加え、大消費地への出荷・販売量を増やしていきます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元飲食店等への利用・販売促進</li> <li>○ 試食販売会・販路開拓調査</li> </ul>
⑤地域に根ざした特用林産物の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林間畑わさび生産量：目標31トン</li> </ul>	<p>(1) 新たな産地形成のため、林間畑わさびの栽培や漆林の造成等を支援します</p> <p>ア 林間畑わさび</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 栽培面積確保に向けた講習会等開催</li> <li>○ 巡回指導の実施</li> </ul> <p>イ 林間あじさい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あじさい園支援</li> </ul> <p>ウ 漆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな漆産地の形成検討</li> </ul>

第2四半期までの取組状況	第2四半期の進捗状況	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>県行造林折壁（一）事業区の伐採跡地での再造林の意向確認（花巻）</li> <li>一貫作業による再造林支援（遠野、一関）</li> <li>森林整備事業による再造林の支援</li> <li>林道開設延長 1,909m</li> <li>林業専用道延長 1,120m</li> <li>森林作業道延長 46,428m</li> <li>アカマツ100%活用促進事業について、7月の大雨による被災により中止</li> <li>アカマツの広葉樹林化事業実施支援（遠野：交付決定7/16）</li> <li>アカマツ通年伐採検討会（一関：8/21）</li> <li>ナラ枯れ被害調査（航空調査9/8：遠野、ドローン調査9/2：奥州）</li> <li>ナラ林健全化促進事業実施への働きかけ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一貫作業実現に向けた働きかけ（花巻）</li> <li>一貫作業の進捗管理</li> <li>伐採跡地に対する再造林の働きかけ</li> <li>路網開設事業の進捗管理</li> <li>アカマツの広葉樹林化事業実施支援</li> <li>アカマツ伐採の実態調査及びチップパー機保有状況調査（一関）</li> <li>一関市単独事業（広葉樹林の更新伐）の活用検討（一関）</li> <li>ナラ林健全化促進事業の実施支援（遠野）</li> <li>関係機関によるナラ枯れセミナーの開催（2月）</li> <li>国と連携した調査による早期発見</li> <li>関係機関と協議し、対応方針を定め、R3の脱出期前の適切な処理に向け駆除等の支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>原木しいたけ出荷制限解除（7/27） 花巻：2名、遠野2名（ロット追加含み）</li> <li>原木しいたけ産地再生応援隊第1回会議（7/20）</li> <li>栽培管理指導及び出荷前検査を実施</li> <li>特用林産施設等体制整備事業に着手 原木 115,800本、おが粉468m<sup>3</sup> 菌床 457,420個、人工ほだ場1棟</li> <li>地域飲食店への働きかけ及び販促資材の検討</li> <li>J Aファーマーズいわて平泉でのPRイベント・販売会（一関：8/29）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産量の伸び悩み</li> <li>有利な販売先の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3春子の解除検査実施を指導（県南2名、遠野1名）</li> <li>品質向上と収量増加のための取組を支援</li> <li>西和賀地域の原木林の可能性調査（11月）</li> <li>地域内原木による子実体の放射性物質濃度調査（一関）</li> <li>パンフレット及び販促資材の作成</li> <li>試食販売の実施（4回：10～11月）</li> <li>販売開拓調査を訪問方式に変更（県南、宮城県北地域のスーパーや産直等に働きかけ）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>林間畑わさび栽培技術勉強会を開催（遠野） 育苗4/28（23名参加）、播種・採取6/3（21名参加）</li> <li>初心者向け林間畑わさび栽培講習会を開催（遠野：6/23、20名参加）</li> <li>モデル圃場設置準備（9/10）</li> <li>生産者への巡回指導（遠野：5/18、4件）</li> <li>林間あじさい等の地域振興に向けたPR（都営地下鉄の中吊り広告）を支援（一関）</li> <li>あじさい園開園（6/27～7/26）（一関） 過去最多入園者を記録（24,400人）</li> <li>いわて漆振興実務者連絡会議（一関：7/21）</li> </ul>	<p>【進捗状況】<u>順調</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおりに進捗</li> </ul> <p>【主な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林間畑わさびの新規生産者育成・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適地森林調査</li> <li>講習会参加者の状況確認</li> <li>生産者巡回指導</li> <li>モデル圃場設置</li> <li>遊休農地栽培調査</li> <li>県南広域圏内で生産者の掘り起こしを実施</li> <li>地域イベント等でのプリザーブドフラワー販売支援（一関：10/12、10/31、11/1、12/7）</li> <li>関係者との意見交換会に参画・情報の収集</li> </ul>



令和 3 年度 県南 広域 振興 局 の 取組 方向

目指す将来像 人とつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域

【令和 3 年度の取組方向】

<p><b>I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域</b></p>	<p><b>II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域</b></p>
<p><b>【基本方向】</b></p> <p>① 質の高い医療介護サービスを提供できる体制構築、関係団体との連携による環境保全の取組</p> <p>② 安全・安心な生活を支える社会資本整備・維持管理</p> <p>③ 国際化を見据えた生活環境整備、魅力ある地域づくり</p>	<p><b>【基本方向】</b></p> <p>① 地域企業の技術力と競争力の向上等による一層の産業集積の推進</p> <p>② 地域の伝統産業の振興</p> <p>③ 圏域の産業を支える人材の確保・育成・定着</p>
<p><b>1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります</b></p>	<p><b>1 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます</b></p>
<p><b>【健康づくりの推進】</b></p> <p>① 生活習慣病の予防に向け、スーパーマーケット等と連携し、健康的な食生活に誘導する意識啓発</p> <p>○がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数(人口 10 万人当たり) H28:297.4 人→R2:273.9 人(男性) H28:152.4 人→R2:134.0 人(女性)</p> <p>② 自殺リスクの高い人の早期発見、早期対応ができるゲートキーパーの養成等の総合的対策に向けた研修等の開催</p> <p>○自殺死亡率(人口 10 万人当たり)H29:21.5 人→R2:18.5 人</p> <p><b>【地域包括ケアシステムの構築】</b></p> <p>① 高校生を対象に、医療・介護・保育職等の人材確保に向けた取組の推進</p> <p><b>【障がい者の自立活動の支援】</b></p> <p>① 障がい者の工賃向上に資する農福連携の推進のため、事業者と農業者とのマッチングを支援</p> <p><b>【結婚支援対策・子育てしやすい環境整備】</b></p> <p>① 「いわて子育てにやさしい企業等」認証制度の普及拡大、「いわて子育て応援の店」の協賛店拡充</p> <p>○「いわて子育てにやさしい企業等」認証件数(累計) H29:39 社→R3:119 社</p>	<p><b>【ものづくり企業の競争力強化】</b></p> <p>① ものづくり企業の自動車産業や医療機器産業の参入促進につながる品質マネジメント研修会や、企業ニーズに対応したオーダーメイド研修の実施</p> <p>② ものづくり企業の生産性向上の取組支援のため、第 4 次産業革命技術(IoT 等)の高度技術者養成研修等の開催による導入支援、盛岡局と連携した I T 企業とものづくり企業とのマッチング支援</p> <p>○ものづくり関連分野の製造品出荷額 H28:12,910 億円→R2:14,500 億円 ○東北地域ものづくり関連分野の製造品出荷額における県南地域のシェア H28:12.6%→R2:14.5%</p> <p><b>【自動車・半導体産業への参入促進】</b></p> <p>① ものづくり産業アドバイザーによる新規参入・取引拡大に向けた企業指導や勉強会等を開催</p> <p><b>【伝統産業の振興】</b></p> <p>① 「いわて県南エリア伝統工芸協議会」による情報発信や販路開拓の活動支援、伝統産業の魅力発信と交流人口の拡大に向けた「オープンファクトリー五感市(ごかんいち)」の開催支援</p> <p>○伝統産業の各種イベント等への来場者数(累計) H29:一人→R3:8,000 人</p> <p><b>【道路整備による産業振興】</b></p> <p>① 広域的な物流の効率化、生産性の向上につながる道路整備(一般国道 342 号白崖)</p> <p>○物流の基盤となる道路整備延長(累計) H29:0 m→R3:14,880m</p>
<p><b>2 快適で安全・安心な生活環境をつくります</b></p>	<p><b>2 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します</b></p>
<p><b>【環境保全の推進・野生鳥獣の保護管理・動物との共生社会の実現】</b></p> <p>① 「いわて地球環境にやさしい事業所」認定制度の普及拡大、エコスタッフの養成に向けた研修等の実施</p> <p>② 有害鳥獣の個体数管理の役割を担う狩猟者の育成と鳥獣被害防止に向けた環境整備</p> <p>○新規狩猟免許取得件数(累計) H29:116 件→R3:516 件</p> <p>③ 犬・猫の譲渡推進に向け、飼い主希望者を対象に、獣医師による飼養方法の指導等の実施</p> <p><b>【安全・安心の確保】</b></p> <p>① 橋梁の耐震補強(花巻停車場花巻温泉線落合橋等)や通学路を中心とした歩道整備(主要地方道花巻大曲線志戸平等)</p>	<p><b>【人材確保、地域企業の理解促進】</b></p> <p>① 働きやすい労働環境整備に向けた国の支援制度や県の認証制度の周知、企業の採用力向上のための採用活動の手法や魅力発信等に関する勉強会の実施</p> <p>○高卒者の圏域内就職率 H29:63.9%→R3:85.0%</p> <p>② 「いわて県南広域企業ガイド」の高等学校等への設置や配布、ホームページ掲載による生徒・保護者等への地域企業の情報提供</p> <p>○企業ガイド(サイト)閲覧数 H29:3,782 回→R3:4,300 回</p> <p><b>【若者の職業意識・地元志向の醸成、企業の人材育成】</b></p> <p>① 就業支援員やキャリア教育サポーターによる高校生を対象としたガイダンスや、小中学生を含めた出前授業による職業意識の醸成</p> <p>② U・I ターンへの促進に向け、イベント等を活用した首都圏の移住希望者への企業情報等の周知、移住者を受け入れる企業への訪問</p> <p>○市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数 H29:650 回→R3:700 回</p> <p>③ 児童生徒等を対象とした建設現場見学会の開催</p>
<p><b>3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります</b></p>	
<p><b>【地域の国際化への対応・地域コミュニティの形成】</b></p> <p>① ILC 関係者など、外国人が安心して医療を受けられる体制の整備に向け、奥州市国際交流協会との連携による医療通訳スタッフを育成する研修会の開催</p> <p>○医療通訳研修会修了者数(累計) H29:32 人→R3:60 人</p> <p>② 関係人口拡大に向け、仙台圏でのセミナー・オンライン形式でのワークショップ等の開催</p> <p>○県外からの移住・定住者数(県内移動除く)H29:146 人→R3:220 人</p>	

令和3年度県南広域振興局の取組方向

【令和3年度の取組方向】

<p><b>Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域</b></p> <p><b>【基本方向】</b></p> <p>① 平泉の文化遺産などの歴史文化や食文化などの地域の魅力発信による観光振興</p> <p>② 観光客やビジネス客の受け入れのためのホスピタリティ向上</p>	<p><b>Ⅳ 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域</b></p> <p><b>【基本方向】</b></p> <p>① 企業の経営体の育成、収益性の高い産地の形成、活力ある地域づくりの推進</p> <p>② 林業の担い手の育成・確保、低コスト林業による森林資源の循環利用、特用林産物のブランド力回復と販路拡大</p>
<p><b>1 地域の魅力の発信による交流を広げます</b></p> <p><b>【観光振興による交流拡大】</b></p> <p>① 世界遺産連携推進実行委員会等を通じ、市町等と一体となり、「平泉世界遺産祭」をはじめとする誘客イベント等を開催</p> <p>② 新たな観光コンテンツづくりや磨き上げを支援するセミナーの開催や専門家を派遣</p> <p>③ 豊富な観光資源、多様な体験型コンテンツを国内教育旅行のサブコンテンツとして効果的に取り入れ、ウィズコロナにも対応したモデルコースの作成・提案</p> <p>○県南圏域の観光入込客数（延べ人数）H29:1147.4万人回→R3:1164.6万人回</p> <p><b>【スポーツによる交流拡大】</b></p> <p>① マラソン大会など市町との連携事業（県南レジェンドランナーズ）は、ウィズコロナに対応しつつ、更なるファンの獲得につながる事業の展開及び持続的な運営に向けた取組を推進</p> <p><b>【道路整備による観光振興】</b></p> <p>① 県内各地の観光地を周遊する道路整備（一般国道342号白崖）</p> <p>○観光地へのアクセス道路整備延長（累計）H29:—m→R3:9,470m</p>	<p><b>1 企業の経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます</b></p> <p><b>【企業の経営体の育成】</b></p> <p>① 企業の経営体育成者等の経営発展のための研修会・意見交換会の開催</p> <p>② 新規就農者確保に向けた雇用就農促進の支援</p> <p>○企業の経営体の育成対象数（累計）H29:19経営体→R3:42経営体</p> <p><b>【産地の育成・強化】</b></p> <p>〔米〕各種イベントと連携した販売促進、首都圏米穀店等とのリモート産地交流会の開催、リモートセンシング技術等の活用など、スマート農業技術普及のための研修会の開催</p> <p>○米のオリジナル新品種販売数量 H29:1,738t→R3:3,700t</p> <p>〔園芸〕園芸団地の形成・運営支援等による大規模経営体の早期育成、労働力の安定確保に向けた支援員の設置等による農福連携のマッチングの支援</p> <p>○重点園芸品目の系統販売額 H29:4,580百万円→R3:4,836百万円</p> <p>〔畜産〕関係者で構成するサポートチームによる飼養管理の改善指導</p> <p><b>【農畜産物のブランド化・高付加価値化、農村地域の活性化】</b></p> <p>① 地理的表示保護制度（GI）等を活用した他産地との差別化による評価向上の支援</p> <p>② 農業法人等に対する業務用商品の開発、取引拡大に向けたマッチングの支援</p> <p>③ 都市と農村の交流促進に向けた農家民宿事業者対象の研修会</p> <p>○農業産出額 H28:974億円→R2:979億円</p>
<p><b>2 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります</b></p> <p><b>【食による交流拡大】</b></p> <p>① 地産地消レストランフェアの広域開催</p> <p>○地産地消イベント参加人数 H29:—人→R3:19,200人</p> <p><b>【国内外への取引拡大】</b></p> <p>① 地域食材の輸出拡大に向け、釜石港を利用した小口混載物流ルート構築に係る実証実験の実施</p> <p>② 関連企業等で構成する「食産業クラスターネットワーク」を活用し、個々の企業の経営課題に対応するアドバイザーを派遣</p> <p>③ 管内食品事業者とバイヤーのマッチングに向けたビジネス交流会の実施</p> <p>○食料品製造出荷額 H28:837億円→R2:861億円 ○商談会での取引成立件数 H29:99件→R3:110件</p>	<p><b>2 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します</b></p> <p><b>【担い手の育成・確保、ICTの導入等による経営効率化】</b></p> <p>① 林業の担い手確保に向けた高校生や林業就業者への森林・林業の現状紹介、現場体験会の開催</p> <p>○林業技能者数（累計）H29:163人→R3:190人</p> <p><b>【未利用資源を含む木材の利用促進・安定供給】</b></p> <p>① 松くい虫被害材を含むアカマツの有効利用手法の実証</p> <p>② 木育推進のための出前授業等の実施</p> <p>○木材生産額 H29:5,120百万円→R2:5,160百万円</p>
<p><b>3 文化芸術を生かした地域づくりを進めます</b></p> <p><b>【伝統文化等の魅力発信】</b></p> <p>① ラジオ番組を活用し、世界遺産の魅力を広く発信</p> <p>② 紙芝居「みんな なかよし ひらいずみ」を活用し、遺産の価値を広く発信</p> <p>③ 平泉のガイダンス施設の開館に向け、地域の文化芸術の魅力を伝える人材育成のための観光ガイド研修会の開催</p> <p>○講習会参加者数（累計）H29:—人→R3:100人</p>	<p><b>【原木しいたけの産地再生・ブランド力回復】</b></p> <p>① 栽培指導・原木の安定供給の支援、消費拡大に向けた販売促進</p> <p>○乾しいたけ植菌本数 H29:119千本→R3:126千本</p> <p><b>【特用林産品の生産振興】</b></p> <p>① 林間畑わさびの新規栽培希望者への講習会の開催や、栽培の手引きの作成・配布、栽培技術の普及・定着のための定期巡回指導等の実施</p>

## 令和2年度 第1回県南広域振興圏地域協働委員会議での委員の意見に対する対応状況等

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
1	<p>令和元年度は伝達講習という形で、料理実習を通じて、地域の皆様の健康づくりに協力させていただいた。また、イーハトーブ花巻ハーフマラソンなどに、花巻市の郷土料理であるおやきを提供してきたが、今年度はそのようなものがすべて中止になっている。</p> <p>このような時期だからこそできることをということで、令和2年度は、人が集まる調理実習はできないため、レシピを皆さんにお渡したり、小規模でできることを行っている。</p>	保健福祉環境部	<p>脳卒中の発生率や子どもの肥満率が高い状況であるため、健康づくりの取組が必要と感じている。</p> <p>ただし、今年度は新型コロナウイルスの影響があり、実施方法を見直し、感染予防対策を講じながら、できる範囲で取り組んでいこうと考えている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防のための「新しい生活様式」を踏まえた健康づくり事業の進め方を検討し、生活習慣病予防に取り組んでいきたい。</p>
2	<p>岩手県に新型コロナウイルス感染症の方がいないのは、県民に自分の命は自分で守ろうという意識が培われているからと感じている。</p> <p>食生活改善推進員協議会では、自分達の健康は自分達の手でというスローガンがある。さらに、岩手県は津波てんでんこという言葉もあり、自分の命は自分で守ろうという意識が自然と培われていると思う。自分を守ることで、周囲の人も守られていくのではないかと考えている。</p>	保健環境福祉部	<p>新型コロナウイルス感染症の方がいないのは、岩手県は人口密度が低いことも大きいのではないかと思う。合わせて、御紹介があったとおり、震災の経験もあり、意識の高さや県民性が関わっているのではないかと思う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の方がいない状況ではあるが、知事も話しているとおおり、最初の患者にならないようにという不安があるかと思う。</p> <p>感染した方に対しても、非難せず普通に接していくという意識をもっていただき、感染拡大を防いで行けるよう新型コロナウイルス感染症についての情報発信をしていきたい。</p>
3	<p>台風災害関係及び医療との連携訓練に非常に興味があるため、自主的に見学できないものか。自分の防災活動の幅を広げるため、可能であれば見学したい。</p>	保健環境福祉部	<p>災害医療の関係では、様々な医療との連携の訓練を実施しているところである。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の関係もあり、災害医療実地訓練は中止となってしまったが、実践的な訓練の場については、ぜひ委員にも御覧いただき、アドバイス等をいただければと思う。来年度以降、詳細決定後に御案内し上げたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
4	<p>障がい者の自立活動の支援に関して、福祉施設入所者、支援学校に通う生徒等を含めて、支援が必要な人にも配慮した防災対策に今後取り入れていくことはどうか。県南広域振興局として、支援が必要な人に対して、防災に関して行えることがあるのではないかと。応急手当の方法、通報要領等をお年寄り、障害者を含め必要な人達に対してできる範囲内で実施すれば、少しずつでも意識が高まっていくと思うので、検討をお願いしたい。</p>	保健環境福祉部	<p>障がい者、高齢者は災害時の避難行動においては要支援者というような扱いをしており、いかに適切に安全避難させるかが大切な観点とされている。</p> <p>委員から御提言のあった応急手当について、難しいかもしれないが障がい者の施設、団体の方々とお話させていただきながら、積極的に施設事業者の方向けに御案内申し上げたいと思う。</p>
5	<p>防災、減災、危機管理対策に関して、奥州市の川を水位周知河川として指定したとあった。</p> <p>水位周知河川は一体どういうものなのか、それに対してどういう対応をしているのかを確認したい。</p>	土木部	<p>水位周知河川は、水防法に基づき、水位情報をお知らせしている河川のことであり、知事等が指定している。</p> <p>これは県の岩手県河川情報システムというホームページにおいて、各地区、各圏域毎に、雨量、監視カメラ、水位といった情報を発信している。</p> <p>役割としては、ホームページやマスコミ等を通じて県民の皆様へ速やかに水位情報等をお知らせすることや、自主的な避難にもご活用いただくことである。</p> <p>また、市町村の防災部局との連携を図りながら、様々な対応に移る際の目安にもなっている。</p>
6	<p>江刺の人首川について、市町村との連携は何かあると思うが、現在の防災対策の取組や、今後の取組をお聞きしたい。</p>	土木部	<p>人首川に関しては、防災、減災、国土強靱化のための3か年緊急対策を、平成30年度から令和2年度までの期間限定で進めている中で、人首川でも河道掘削（川の中に溜まった土砂を撤去する治水対策事業）を行っている。</p>

No.	御 意 見		対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容		担当部	内 容
7	<p>土砂災害警戒区域等の指定について、心配している住民の方もたくさんいるため、できるだけ早く指定をして、様々な対策を講じていただきたい。</p>		土木部	<p>土砂災害警戒区域の指定について、令和元年度までに指定に向けた基礎調査を県南広域振興局も含めて、県内全箇所が完了している。現在は、土砂災害警戒区域の指定手続を進めているが、県南広域振興圏全体の進捗は、8割程度である。危険箇所数が多い奥州市、一関市千厩エリア、遠野市では、指定があまり進んでいないが、花巻市、北上市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町においては100%の指定になっている。奥州市では、江刺に未指定の箇所が相当数残っている。</p> <p>指定にあたり、これまで、関係者が一堂に会するというスタイルで説明会を開催していたが、都合がつかない方が多数というケースが多かったため、時間帯を幅広く設定して参加しやすくなるといった方法や、新型コロナウイルスの関係もあり、資料を郵送する方法などといった工夫しながら実施する予定である。</p> <p>引き続き、市町村とも連携しながら、より一層早期の指定に向けて取り組んでいく。</p>
8	<p>5、6年前に地域おこし協力隊で岩手県に戻ってきた当時は、何か困ったことがあると、行政に頼ったりしている方が多かったが、数年の間に自分達でできることは自分達でやっといこうという方が周りに増えてきた。</p> <p>実際、西和賀町には子育て支援センターはまだないが、子どもと母親達が集まれる場所を自分達で作っていきたいという人達が増えている。</p> <p>ただし、1人ではできる限界があるため、行政として支援できる範囲で支援してほしい。子育てに関する支援策がたくさんあるが、実際に困っている人が支援策を知らなかったというような話もよく聞くため、情報共有するような取組が必要と思う。</p>		保健環境福祉部	<p>子育て支援施策は、市町村が主体となってやっただいている。今回、御提言いただいたので、役場に県からお話をさせていただきたいと思う。</p> <p>情報があれば支援する側に回れる方もいるということは、改めて意識させていただいたので、情報提供に努めたい。現在は、HP等を中心に情報発信しているが、スマホを持っている方が多いため、SNS等の情報発信が必要と思っている。様々なツールを使用して、若い方や子育て世代に向け、情報を可視化できるよう努めていきたい。また、県南広域振興局でも役場、県本庁と調整をしながら、協力できる部分もあると思うので、今後とも御提言をいただきたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
9	<p>人口減少に技術力の向上が追いつかないところが大きな課題である。省人化、無人ラインを作るのに20年かかった。10年後には子どもがいなくなるという中で、入社してから育てるのでは間に合わないと思っている。今までは工業専攻の方、まれに高専の方、産業技術短期大学の方のようなある程度の教育を受けた方をすぐ戦力にしたいということでやってきた。AIやIOTに本気で取り組む場合、高専の未来創造工学科のようなプログラミング的なものができる子供たちに、今から教育しないといけないと思っている。</p> <p>10年後を描くには人材育成が必要だと思っている。先生方の意識改革、子ども達の教育、技術向上に向けて、ソフトウェア教育を取り入れるということが必要だと思っている。</p>	経営企画部	<p>AI、IoTの教育を導入するための基盤づくりを教育委員会が考えていると承知している。長い目を見た場合、組立だけではなく、ソフトウェアで機械を動かすという部分の人材育成は必要であるため、教育委員会に伝えていきたい。</p>
10	<p>外国人材への対応ということを前回も提案させていただいたが、何かしら事業を立ち上げていただきたい。</p> <p>私が所属する団体でも、今年度の事業として、ベトナムに行ったり、ベトナムの人達との交流を持ち、製造業で働きたいという人達の生の声を聞こうとしていたところだった。新型コロナウイルスのこともあり、今年はやれないということになっているが、続けていきたいと思う。</p> <p>県としても何かしらそれに対する取組を少しの予算でも良いので、立ち上げていただきたい。現在、岩手県には新型コロナウイルスの感染者が確認されていないことも売りになるのではないかと思う。我々がベトナムを選んでいるような気持ちであるが、全く逆である。彼らは他にシンガポール、オーストラリア等と時給を比較して日本を選んでいる。なおかつ、この寒い岩手までくるのだから、魅力発信という意味でも、何かしら繋がりを模索していただきたい。</p>	経営企画部、国際室、定住推進・雇用労働室	<p>県内の産学官で組織する「いわてグローバル人材育成推進協議会」では、外国人の県内定着に向けて、外国人を対象としたグローバルキャリアフェアの開催やインターンシップの機会の提供、外国人の雇用に向けた企業向けセミナーの開催などに取り組んでいる。</p> <p>また、外国人労働者の生活環境を支援するため、平成31年4月の出入国管理及び難民認定法の改正による新たな在留資格の創設等を踏まえ、令和元年7月2日、ワンストップ型の相談窓口として、いわて県民情報交流センター（アイーナ）の国際交流センター内に「いわて外国人県民相談・支援センター」を設置し、関係機関と連携し外国人県民等からの様々な相談に多言語で対応している。加えて、広く相談対応していくため、定期的な県内各地域での巡回相談、事業所等の訪問を実施している。</p> <p>引き続き、市町村や国際交流協会等の関係機関と連携した日本語学習の支援、多言語による生活情報の提供、災害時の支援体制の構築を行うとともに、事業所向けの説明会の開催等による企業への外国人労働者の雇用に係る制度周知などを行い、外国人県民が暮らしやすい環境づくりに取り組んでいく。</p> <p>併せて、県の英語版SNS等を通じて海外に向けて本県の魅力を積極的に情報発信していく。</p>



No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
11	<p>地元の定着率が高まるのは、良い人材を採用するチャンスが高まるという意味で、中小企業にとっては良いことだと思っている。しかし、大卒を採用することが非常に難しい。工業高校の方々にも地元企業のアピールをお願いしたいが、一度離れていった大卒の方が地元へ就職することに繋がる政策があればありがたい。</p>	経営企画部	<p>県外に出た大学生に対し、地元就職を促進する取組については、進学先の情報が把握できないことから、中学高校生の時から、進学を目指している学生に向けた講演会や企業見学会を通じて、地元企業を知ってもらう取組を拡充するほか、保護者の方々や先生方に地元の企業をあらかじめ知っていただく取組を推進していきたいと考えている。</p> <p>なお、大卒者採用について、県では、学生のU・Iターン就職促進のため、全国の大学等との連携を強化する「岩手U・Iターンクラブ」を発足している。首都圏の大学など50数校から協力をいただき、県内へのU・Iターンを支援している。すぐに実を結ぶことは難しいと思うが、継続して取組を行っていく。</p>
12	<p>新型コロナウイルスの影響により、現在の企業はリモート環境で動いている。打ち合わせでも仙台より遠くの方には、基本的にウェブで話している。マイナビの合同説明会もウェブで行っている。最近も岩手大学の学生向けにウェブの説明会の収録を行ったばかりである。企業がウェブ対応しており、行政としても何か対応していただきたい。</p> <p>1つの提案として、この会議の案内だが、毎回封筒で日程調整、開催案内や資料が送付されており、時間や労力をかけて行われているのではないかと思う。この機会に、メールに変更しても良いのではないかと思う。業務の効率化の一つとして考えていただきたい。</p>	経営企画部	<p>県南広域振興局では、これまで集合形式で実施してきた採用力向上研修の2回目をオンライン形式で実施した。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響のため若手社員向け研修が見送られたことから、新たにオンライン研修を実施した。今後も新型コロナウイルスの状況を考慮しながら引き続き取り組まなければならないと認識している。</p> <p>行政のネット化については、県では専用回線を使用しているため、一般の方への大きいファイルの提供方法については遅れている状況である。現在は、クラウドなどでのやり取りもできるため、会議の開催の文書や日程調整のようなものも簡略化して、できるだけ皆さんのお手間を取らせないような形で考えていきたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
13	<p>私も経験があるが、1度は県外に出たいという考えは若い方々にあると思う。一時期は、地元にあまり魅力がない、楽しめるところがないため県外へ行ったという話があったが、状況は変わり、今まで東京等の中央にしかなかったものが地方にもあるようになった。情報もネットで集めることができ、地元の文化や環境といった魅力に惹かれて、1度県外に出た方々も戻ってくるというところがあると思う。</p> <p>高校を卒業してすぐに就職し、地元で定着するというのも1つと思うが、海外や東京等で仕事していた皆さんが戻ってきて地元で活躍できる場所や支援があると良いと思う。戻ってきた方々がいろんな知識をこの地元で広めることにより、地域の活性化につながっていくのではないかと思う。</p>	経営企画部	<p>現在はIターン、Uターンを意識して、移住・定住関係の移住支援金を県でも準備している。また、県外在住でも、地元の観光や文化等を知る機会を増やしながら、岩手の良さをアピールできればと思っている。</p> <p>キャリア教育においては、1度地元から出たいという学生にも、地元にこのような企業があるということを職場体験、企業見学で理解してもらい、地元に戻ってくる場所があることを知っていただく取組を継続していきたい。</p> <p>県では、本年3月に策定した第2期岩手県ふるさと振興総合戦略の4つの柱の中に、新たに「岩手とつながる」という項目を設け、Iターン、Uターンに力を入れていこうとしている。岩手県に戻ってきてもらうという視点を少し強めながら様々な対策を練っていきたい。</p> <p>また、都会で働いている方に戻ってきていただくため、オンライン等の整備が非常に大事と考えており、テレワークも合わせて考えていかなければならないと思う。今後、様々な取組を検討していきたい。</p>
14	<p>観光振興の軸として平泉町の世界遺産登録10周年は好機であり、新型コロナで大きなダメージを受けた観光業の再興に官民挙げて取り組んでいければよいと考えている。</p> <p>一方で、新型コロナウイルスによりツーリズムの在り方も変わってきており、今までの団体客から個人客へ、明確にシフトしてくるのではないか。教育旅行などといった団体旅行はこれからも積極的に行う一方で、個人の旅行者が楽しめるアクティビティや移動手段としてのMAAS（マース）など、民間と連携した取組をより推進すべきである。</p>	経営企画部	<p>(書面での御意見のため、会議内での回答はありません)</p> <p>「平泉の文化遺産」の世界遺産登録10周年や東北デスティネーションキャンペーンの開催等の好機を活かし、市町や観光事業者と連携し観光コンテンツをブラッシュアップし旅行商品造成に向けた働きかけを行っていく。</p> <p>観光コンテンツのブラッシュアップにあたっては、ウイズコロナの時代における旅行ニーズの変化も踏まえ、取組を行っていく。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
15	<p>withコロナにおいては、オンラインによるツーリズムの発信が必要不可欠であると考えます。ソーシャルディスタンスではなく、岩手ならではのナチュラルディスタンスが存在し、多言語で岩手がなぜ感染者が出ていないか、少ないかをよりPRしてもよいと思う。</p> <p>事業者としてもオンラインでの取引（EC）が主流となる可能性も高く、一気にその流れを後押しする施策もあっていいのではないかと。</p>	経営企画部	<p>（書面での御意見のため、会議内での回答はありません）</p> <p>ウィズコロナの時代におけるオンラインによるツーリズムの発信や本県ならではの強みの発信については、情報を収集しながら研究していきたい。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響により売上げが拡大しているネット通販について、その市場への参画を支援するためのセミナー等を開催することとしており、今後も事業者のウィズコロナに対応した取組を支援していく。</p>
16	<p>観光について、昨年旅行者から、県南周遊モデルコースとして、1日目花巻、2日目花巻温泉から遠野観光～釜石～大船渡、3日目大船渡～陸前高田又は猊鼻溪・中尊寺～一関のように、沿岸へのアクセスが良くなった事により、今まではなかったコースを提案いただいた。今まで事業として取り組まれて来た事が形になってきている事を実感している。サイクリングやマラソンは、健康の増進だけでなく観光にも結びつくと思う。</p>	経営企画部	<p>（書面での御意見のため、会議内での回答はありません）</p> <p>三陸自動車道など、新たな交通ネットワークの整備により、本県を訪れる観光客がより快適に、より長く本県を周遊・滞在する好機となっている。</p> <p>県南広域振興局としても、県南及び沿岸圏域の行政・観光関係機関による教育旅行の推進に向けた連絡会議を設置し、広域での観光周遊に向けた取組を行っている。スポーツをはじめとする各種コンテンツを効果的に活用し、観光周遊につなげていく。</p>
17	<p>県南レジェンドランナーズについて情報発信も上手く、今年は県南レジェンドジャンパーズ等の新しい形にも取り組まれおり、誰でも参加しやすいのが良いと思う。</p>	経営企画部	<p>県南レジェンドランナーズでは、今年度は、参加者個人で参加できる企画を新たに追加し、新型コロナウイルスに配慮した新しい形で実施している。</p> <p>今後も新たな企画を盛り込みながら、新型コロナウイルスに対応した取組を実施していく。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
18	<p>「食産業のネットワークを活用した交流人口の拡大」について、遠野ふるさと公社でも、昨年まで台湾での岩手県物産展へ参加をさせていただいていたが、個々では難しい課題（販路、輸送方法）等への支援をしていただく事で、海外展開へのきっかけ、商品の磨き上げ等を行う事ができた。</p> <p>また、ホームページ、SNS等の活用、HACCPの研修会等にも参加させていただきましたが、企業力向上のために今後も継続していただきたい。</p> <p>「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を通じて自社商品の磨き上げや情報交換を行い販路の拡大にも繋がっている。</p>	経営企画部	<p>（書面での御意見のため、会議内での回答はありません）</p> <p>海外展開に関しては、今年度も台湾裕毛屋岩手県物産展への参加、海外バイヤーとのWEB商談会への参加を働きかけている。</p> <p>また、南いわて食産業クラスター形成ネットワークにおいては、ホームページ・SNS活用及び商品開発等に係る専門家の派遣やビジネス交流会の開催を通じて、商品の磨き上げや販路拡大を支援していく。</p>
19	<p>今後は、新型コロナウイルス対策等も行わなければならない。ネット販売の強化や衛生管理体制などの課題があり、これらへの取組を行っていただく事はとても有難いと思っている。</p>	経営企画部	<p>（書面での御意見のため、会議内での回答はありません）</p> <p>ネット通販市場への参画を支援するためのセミナーやHACCPへの取組支援など、今後もウィズコロナ時代に対応した取組を展開していく。</p>
20	<p>30年前に大規模に土地を区画整理した地域については、その地域住民たちの力だけではどうしようもない状況である。重機等が入らないと土地を維持できないような場所が増えていることもある。今年、中山間直接支払制度が第5期に入り、新たな加算制度ができた。それを有効に活用させていただき、地域住民の取組に加えて、大規模な重機を使用した整備にも取り組んでいきたい。大規模な修繕に特化した支援制度について、十分に協議いただければ大変ありがたい。</p>	農政部	<p>直接支払制度をご活用いただいていると思うが、中山間地域等直接支払制度の活用や多面的機能の対策もあるため、今回いただいた御意見を参考にしながら進めさせていただきたい。</p> <p>今までは場整備したものの補修にも使える支援はある。その支援を活用していただきながら、今回の御意見を参考に充実させた方が良い部分は検討していきたい。</p> <p>また、中山間の集落でまとまっていたき、まとまりの中で取り組むことが大事だと思っている。特に、中山間はそのような取組がないと進まないと思っているため、これからも一緒に取り組ませていただきたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
21	<p>今後の企業的経営体の育成に関して、農業専門の経営コンサル的な支援がほしい。ものづくり部門では、原価管理、工程管理、人材育成に事細かに支援等を行っていただいていると思うが、農業部門においても、そのような支援が必要になってくると考えられる。</p> <p>特に、集落営農を実践している組織は、法人化して大きく行っているところもあれば、始まったばかりのところもある。また、規模的にも大きいところから小さいところまで、いろんな団体がある。個々の形態に合わせ、本当に農業経営を力強く行っていくためにはどうするか、どういう戦略を持って経営を運営していくかを個別に指導する、支援するような仕組みが必要だと思う。</p>	農政部	<p>企業的経営体には、経営能力が高い中心になる人が必要である。</p> <p>また、中山間のような条件が不利なところでは、集落単位で6次産業化で収益を上げるというところも大事だと考えており、進めたい。</p> <p>また、コンサルタント的な支援をさせていただいているため、この地域は、このような地域資源から6次産業化に取り組んだほうがよいのではないかと相談に乗りながら進めることが良いと考えている。</p> <p>個別に課題は違うため、相談して支援していくような取組をしたい。体制的に少し整ってきているが、実際に使用する場面で一緒に提案させてもらったりしながら、次の戦略を考えていきたい。</p>
22	<p>私の周りでも、農地プランの実質化ということで、担い手等の集積率が達成できてないところは、アンケートを取り、話し合いという形で、各地区でここ2年間のうちに実施することになっているため、中心経営体、要は担い手等へ集積され、経営がそちらの方に移っていくのではないかと思う。</p> <p>ただ、集落営農等がそのような形の法人化になったとしても、すべてが集落営農や個人が法人化されたことによつてうまくいくわけではないため、そのようなところを県で指導いただきたい。</p>	農政部	<p>農地の集積について地域で話し合いを行っていただいております、この地域ではこのような人たちが中心に行うのでその人たちに農地を集めようというプランを話し合っている。現在、その取組を各地で進めていきたいと思っている。</p> <p>ただし、法人化した方が本当にうまくいくか、いろいろなケースがあるため、法人化に向けての研修会を行っている。</p> <p>例えば、中小診断士や税理士等の専門の方の指導が必要な場合は、いわて農業経営相談センターから専門家を派遣してもらいながら、個々に対応した解決が図られるよう支援している。御意見のとおり、これから集落営農や個人で法人化し、大きくなった場合それぞれの課題があると思うので、今後の施策に生かしていきたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
23	<p>農地が担い手等に集積された後、もし担い手に何かあった場合、要は事業継承できなかつたというようなことがあった場合、その農地は誰がどのような形で継承していくのかとところが今後の課題になっていく可能性がある。10ha、20haぐらいの面積では問題はないと思うが、200haで一気に作付する人がいなくなった場合、どのように対応していくのか。そのようなことがないような仕組みづくり、例えば、企業と農業法人間でパートナーシップをとり、何かあった場合は引き受ける等、住み分けしながら、農地を荒らさず、生産量は減らさない仕組みづくりができていけば良いと思う。今後、そのようなところも研修会や勉強会等で支援していただきたい。</p>	農政部	<p>現在の農地は、耕作放棄地が増えないように、使えるものを使えるうちに使える人に預けようということで行っているが、今後は引き受けた方の高齢化が進み、継承ということもあるため、農地中間管理事業の活用を行っているが、何百haも経営している農家の方の継承には、様々な課題があると思っている。</p> <p>今回いただいた御提案も含めて、今後に向けて検討させていただきたい。</p>